
ゆとりでも分かる日月神示

セオメ = マーヤ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゆとりでも分かる日月神示

【Nコード】

N9876H

【作者名】

セオメ＝マーヤ

【あらすじ】

「日月神示」の解説をしています。「日月神示」とは、第二次世界大戦も終盤にさしかかった昭和19年に、大本教の信者で画家であった岡本天明に、「国之常立神」から自動書記で降ろされたと言われる神示です。解読された当時から、軍関係者（特に陸軍）の間で有名になり、終戦時に自殺を思い留まった軍人達の中には、この神示を知っていた人もかなりいたそうです。ちなみに怪しげな宗教団体とは関係ありません。なぜなら日月の中に「宗教団体は作るな」と書かれているからです。

前書き

以前から「日月神示を斜め読みできるページがあったらいいな」とのほほんと考えておったのですが、

最近、「マジで日月の予言が的中するかもしれない!!!」という危機感を感じましたので、いっぺんこの辺りでまとめておこうと思います。

最初にお断りしておきますが、日月の予言が必ず当たるという保証はできかねます。

当たらなかつたら当たらなかつたで「良かったね〜」で済ませてくださる、心の広〜い方のみ、閲覧をお願いいたします。

また、この神示を読んで起こったいかなる肉体的・精神的現象にも、当方は責任を負わない方向でおながいいたしますorz

私もぶつちやけ日月神示を芯から信じてるわけじゃないのですが、疑り深いものでw

もしこの神示に書かれていることがすべて真実だとしたら、この神示を知っているか否かで、今後の運命が大きく変わってしまふ可能性があります。

なので、どうか、ちょっとした保険のつもりで、一度だけでよいのでお目通しいただければ、幸いです。

まあ読み物としても面白いので、暇つぶしにでもどうぞw

(暇つぶしの割には長文だな?ええ?おお?)
(ノグリグリ)

ちなみに今までに的中したと思われる日月の予言

日本の敗戦。東京裁判による日本の指導者たちの逮捕・収監・極刑。

「ドイツもイタリアもあてにならぬ、世界中一つになりて、の国に寄せて来るぞ。」（「上つ巻」第四帖）

「偉い人皆俘虜とろことなるぞ。夜明け近くなつたぞ。」（「松の巻」第七帖）

売国政治家、反日マスコミの大量発生。

「いよいよとなれば、外国強いと見れば、外国へつく臣民沢山できるぞ。

そんな臣民一人もいらぬ、早うまことの者ばかりで神の国を堅めて呉れよ。」（「上つ巻」第22帖）

バブル景気とその崩壊。またリーマンショックに端を発する世界的な大不況。

「金で世を治めて、金で潰して、地固めしてみろくの世と致すのぢや。」（「黄金の巻」第五十九帖）

近年のスピリチュアルブーム

「夜明け前になると霊がかりがウヨウヨ、勝手放題にまぜくり返すなれど、

それもしばらくの狂言。」（「星座之巻」第十八帖）

「あちこちに臣民の肉体かりて予言する神が沢山出てゐるなれど、

九分九厘は分りて居れども、とどめの最后（最期）分らんから、この方に従ひて

御用せよと申してゐるので。砂糖にたかる蟻となるなよ。」
「天つ巻」第四帖)

とはいえ日月の情報を一つにまとめるつてのは、なかなか骨なわけ
で・・・

とりあえず、私が独断と偏見で重要であると思つた個所を、抜粋し
てご紹介したいと思います。

ゆ、ゆつとくけど私の解釈は一夜漬けレベルなんだからね！

あと紹介しておいて何なんですが、こういった類いの情報を簡単に
信じるべきではない！

近ごろの盲信的なスピリチュアリスト（彼らをお花畑ストと名付け
た）には、いい加減、
警鐘を鳴らさなくてはと感じています。「赤信号 みんなで渡れば
みな死亡。」ですよ！

4

この神示がマジモンであるか狂言であるかは、最終的には
閲覧者様ご自身で判断して頂きますよう、しつこくお願い申し上げ
ます。

それと、日月の中に「この筆示は8通りに読める」と書いてある個
所がありますので
同じ文章でも、読む人によって、受け取るメッセージに相違がある
可能性があります。

なので私の解釈は、日月神示に示された膨大な情報うちの、ほんの
ひとかけら

みたいなものですので、そこんと一口。

セオメの解説なんて聞いちゃおれんわい、とつとと本文を読ませる
やー！という方は
のリンクからどうぞ。

全文がこちら で読めますが、こちらはとんでもなく長いつえに多
少難解なので、

[http://13.pro.tok2.com/space-
age/sunmoon/index.htm](http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/index.htm)

まずはこちらの ウィキペにまとまっている分を読んでからつても
の手ですぜ？

[http://ja.wikipedia.org/wiki/%
E6%97%A5%E6%9C%88%E7%A5%9E%E7%
A4%BA](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%88%E7%A5%9E%E7%A4%BA)

国之常立神について

『国之常立神について』

「国之常立神」とは、日本神話の冒頭に出てくる天地開闢の神で、スピリチュアル的には日本を創った方だとか、いや地球を創った方だとか、いやいや太陽系を創った方だ、いやいやいや銀河系そのものを創った方だ・・・

とまあ、曖昧ですが、だいたいこんな感じに解釈されてます^ ^ ;
どうしてこんなに曖昧なのかというと、「国之常立神」は「天之御中主神」と同一の神であるという説があるからです。

どちらにしろ、天照大神よりもずっと偉いお方であることは間違いないありませんw
神に人間のような個性があるのかどうかは知りませんがw

ちなみに、このお偉い国之常立神が、直接、岡本天明にかかったわけではなく、
かかったのは中継役の神さんで、日月神示はこの中継役の神さんの言葉・視点で書かれているようです。

(そう言えば「シルバーバーチ」も、バーチ本人ではなく、中継役が降ろしたんだっけね)

それと言うまでもないと思いますが、「国之常立神」とは日本での呼び名であって、

外国ではまた別の呼び方をされておるようでございます。

『日月神示の宗教観』

それほど高級な神からの神示であると言われてるにも関わらず、日月神示のユニークな点は、大本教・天理教などとは違い、宗教化はしていないことです。

それはたぶん神示の中に「宗教団体は作るな」、
「この神は信者を集めて喜ぶような神ではない」と書いてあるからでしょう。

神道ともちよつと違います。どちらかというとき古代神道。

日月は宗教のあり方を、縄文時代の神籬ひもろかきのような形態に戻すと言っています。

神社は神さんをしめ縄でしばって鳥居で閉じ込める呪縛なので、もういらぬとのこと。

また今の天照大神は偽物で、この度は真の天照大神を復活させるとも言っています。

さらに、現在の世界中のてんではばらばらな宗教を、この神さんによって統合し、

世界に宗教はひとつしかなくなるようにするとも言っています。

しかし特定の教義を、むりやり強要しようというのではなく、むしろ余計な教会・教団・教義などを徹底的に排除した、個人宗教を推奨しており

宗教を限りなく自由なものにしようとしているようです。

そんなわけで日月を勉強する人はスピリチュアリストか個人宗教家が多いようですわ。

主な内容

『主な内容』

さて、その話題の「日月神示」には一体何が書かれているのかというところ、いわゆる終末予言です。

2012年12月に世界が滅亡するという噂があるのをご存知ですか？

2012年ごろに世界が大変革を迎えるという予言は世界中にあるようですが、

滅亡予言だけだったり、滅亡した後には再生するまでの予言だったり、もしくはそんな恐ろしげなもんじゃなかと、もつとライトに「アセンション」と呼ばれたりもしております。

そしてこの「日月神示」も、そういった類いの予言ではないかと考えられておるわけです。

「日月神示」にはいわゆる世界の破滅と再生、

「三千世界の大洗濯」とその後にはやってくる「ミロクの世」について予言されています。

特に日本を発端とした世界の終末と、再生について書かれています。

しかし日月には「三千世界の大洗濯」が起きる時期について

「2012年」と書かれているわけではありませんし、具体的に何年と書かれてもいません。

ただ「子の歳を真ん中にして、前後10年が正念場」と書かれている個所があります。

この「子の年」が、2008年のねずみ年のことだと仮定すると、その前後10年は

2003～2013年ということになりますから、やっぱり2012年末ごろが怪しいわけです。

ちなみに今までにも世の建て替えは6回あったそうで、今回は7回目でこれで最後。

トドメの一発で、一番すごいことになるんだそうです。

『ひな形理論』

ここで日月をひも解くポイントとして、「ひな形理論」の説明をせねばなりませんまい。

「ひな形理論」とは、「日本は世界の雛型である」という概念。

日本列島はちょうど世界地図の縮図のような形をしていますよね。

子供のころ、世界地図と日本列島を見くらべて、「似てるなあ」と思われた方は、けっこういらっしゃるのではないかしら？

それがどうも、ただ形が似ているというだけではなく、

本当に日本は世界の雛型なのだそうです。

日本に起こることは世界にも起こる。世界に起こることは日本にも起こる。

「日本は元の国」「根の国」「神国」、これが日月の重要な概念になってきます。

()とところで、このあいだ大雪山で遭難死亡事故が起きたら、カナダで山火事が起こって

静岡に震度6の地震が起こったら、インドでやっぱり大地震が起きたときはびっくりしたよ ^ ^ ;)

また、日月には「根の国」「神の国」「の国」「モトの国」という言葉がたくさん出てきますが、

これらはすべて日本国のことをあらわしています。

あと「ミロク」「てんし様」「この神」「この方」という言葉もたくさん出てきますが

これらはすべて国之常立神のことだと思われれます。(「てんし様」に関しては一部

「アセンションを遂げた人々」という意味合いで使われている箇所もあります。)

ちなみに、とは「(まる)」「の中に」「(点)」「が入った記号です。

「まるチヨン」などと呼ばれております。

基本的に「、」「は神、「」は人を表しており、全体で神人和合を表していると考えられます。

ただし、の記号にも、日月の本文と同じく

多種多様な意味合いが隠されている可能性があります。

、と の別な解釈についてはこちらもご参照ください

h t t p : / / b l o g . i i v e d o o r . j p / k o t t o n o
h a s a c y a / a r c h i v e s / 2 4 6 9 8 3 . h t m l

「三千世界の大洗濯」その予兆とダイジェスト

『洗濯される範囲』

それにしてもなぜ「世界の洗濯」ではなく、わざわざ「三千世界の大洗濯」と言っているのでしょうか？

実は今回、綺麗にするのは人間界だけではなく、ナント霊界も神界も一緒にたに洗濯するからなのだそうです！

霊界・・・神界・・・^ ^ ;

ここでの説明は割愛しますが、まあ、そういう世界があると思ってくださいまし^ ^ ;

ってゆーか私も詳しいことは知らん^ ^ ;

(でもなんかウィキペの方にまとめて書いてあった気がする。)

(たしか「シルバーバーチ」もこの辺の説明をしてたな。)

今は天国にいるべき人が地獄にいて、地獄にいるべき人が天国にいる状態なんだそうです。

なので今回は、上も下もすっかり整理整頓して

みんながあるべき場所に帰るようにしなければならぬということらしいです。

あと日月の中に「この神示は、神と竜神と天人天使と人民たちに与えてあるのぢや」

と書いてある個所がありますので、日月神示自体も、様々な世界に配ってあるようです。

『「三千世界の洗濯」その予兆とダイジェスト』

でだ、問題の「三千世界の洗濯」は突然始まるわけではなく、以下のようないくつかの予兆があるそうです。

- ・ 日が黒くなる。 2009年7月22日
- ・ 月が赤くなる。 なんか最近、ときどき赤いようですなあ
- ・ 空が血の色になる。
- ・ 日が一つではなく、3つ4つ現れる（ように見える？
- ・ 宵の明星（の）ように見える星？（が東に廻っている。
- ・ 夏に雪が降る、冬に桜が咲く。

これらの予兆が始まったら、いよいよ覚悟しろということだそうです。

それにしても、ポールシフトや、ニビルや、UFOを匂わせるwtkな予兆ばかりですなあw

また「秋の空のすがすがしさがグレンと変わる」とも書いてありますので、コトは秋に始まるのかもしれないわ。

「三千世界の洗濯」そのダイジェストはこんな感じ。

1. まずは世界の雛型である日本から洗濯される。

秋の空のすがすがしさが、グレンと変わる。

日本に地震やら噴火やら竜巻やらの天変地異が、度重なって起こる。

一時は天も地も一つにませませになる。天地がうなり、上下引っくり返る。

わけのわからん奇病が流行る。わけのわからん虫がわく。

2・さらに日本は諸外国から軍事攻撃を受ける。

アメリカもイギリスもドイツもイタリアも、味方だと思っていた国もすべて敵になる。

最初に攻め込んでくるのはロシア。「北からくるぞ」「北に気をつける」とのこと。

3・人々は四つん這いやら、逆立ちやら、ノタウチに、一時はなる。

食べ物も、着るものも、住むところもなくなる。

日本の国土は九分九里まで荒廃。人口は3分の1に減少(一説によると3%)。

4・もう日本は終わりだと思われたとき、諸外国に日本よりもっと酷いことが起こる。

(根の国、日本に起こったことは外国にも起こるので)

5・一連の騒動は「この世始まって二度とない苦勞」。

6・どうもこの時期になると、人類が二極化するらしい。

四つん這いになって獣のように這いまわる人と、空を飛ぶような人とはつきり分かれる。

7・そして世界中が九分九里までダメになったとき、残る一里のしくみが働いて

世界がグレンとひっくり返り、ミロクの世が到来する。

8・諸外国よりも一足先に立ち直っていた日本によって、世界はひとつにまとめられる。

世界をひとつにまとめて統治する一人の王があらわれる。
人に神がかかってさまざまな手柄を立てさせる。

9・建て治って再生した世界は、すばらしいものになっている。

・日も月も海も山も野も光り輝いて水晶の様になる。天も地も人も草も、みな光り輝く。

・石や草も喋ったり歌ったりするようになる。土から上がったものが光って来る。

・暑さ寒さが和らぎ、気候も非常に快適になって暮らしやすくなる。

・人民は死のない「てんし様」になる（不老不死になる？）（半霊半物質になる？）

・生きたまま神界とこの世を行ったり来たりできるようになる。

・また、多少未来のことは予知できるようになるなど、超常の力を持つようになる。

・金はいらなくなる。衣類、食べ物、家倉もすべて様変わりする。

・悪はどこにも隠れられなくなる。

・神をたたえる声が天地に満ち満ちて、嬉し嬉しの世となる。

1と2は順序が逆かもしれませぬ。

では次はいよいよ、これらの予言を、日月の本文から抜粋して見ていませう（・・・）

予言その1（前書き）

ココからは、日月の予言を本文から抜粋して、口語訳とともに見て行きますが、

無駄に長くなってしまったので、いらん人はすっ飛ばしてください。

くどいようですが、日月神示は「8通りに読めるのであるぞ」だそうですので

読む人によって、受け取れるメッセージに相違がある可能性があります。

事実、私の口語訳と、ソースサイトの口語訳とでは、意味が異なっている部分があります。

ですので、私の口語訳は参考程度にしてくださいませ。

それではどうぞ（*。。（つ

予言その1

1. まずは世界の雛型である日本から洗濯される。

秋の空のすがすがしさが、グレンと変わる。

日本に地震やら噴火やら竜巻やらの天変地異が、度重なって起こる。

一時は天も地も一つにませませになる。天地がうなり、上下引っくり返る。

わけのわからん奇病が流行る。わけのわからん虫がわく。

『上つ巻 第27帖』

何もかも世の元から仕組みであるから神の申すところへ行けよ。

元の仕組は富士(二二)ぞ、次の仕組はウシトラ三十里四里、次の仕組の山に行きて開いて呉れよ、

今は分るまいが、やがて結構なことになるのだから、行きて神祀りて開いて呉れよ、

細かく知らしてやりたいなれど、それでは臣民の手柄なくなるから、臣民は子ざから、子に手柄さして親から御礼申すぞ。

行けば何もかも善くなる様に、昔からの仕組してあるから、何事も物差して測った様に行くぞ。

天地がうなるぞ、上下引繰り返るぞ。

悪の仕組にみな臣民だまされてゐるが、もう直ぐ目さめるぞ、目さめたらたづねてござれ、

この神のもとへ来てきけば、何でも分かる様に神示で知らしておくぞ。

秋立ちたら淋しくなるぞ、淋しくなりたらたづねてござれ、
我が張つてゐると、いつまでも分らずに苦しむばかりぞ。

この神示も身魂により何んなにでも、とれるやうに書いておくから、

取り違ひせんやうにして呉れ、三柱と七柱揃うたら山に行けよ
http://13.pro.tok2.com/space-
age/sunmoon/123|01|up/up|01|02
7.htm

< >

やれやれ、我らが団長は何を思つてか、またまたよく分からん仕事を押し付けてきたわけだが。

どこからか怪しげな予言書を引っぱり出して来て、それを俺たちに訳せと言つのだ。

なんでも地球を作つた神から直々に下つた予言だそうだが、さて真偽のほどやいかに。

さてよ、その地球を作つた神とやはひよつとして、長門の言つ情報統合・・・なんちゃらと関係があるのだろうか？

・・・まあいい。

何もかも世界の始まりから仕組んであることだ。だから素直に神に言われた所へ行けよ？

元の仕組みは富士、次の仕組みはウシトラ30里4里、次の仕組みの山に行つて開いてくれ。

今はまだ分からんだろうが、まあそのうち良くなるから、行つて神を祀つて開いてくれ。

もっと詳しく教えてやりたいが、それじゃお前らの手柄がなくなるだろう？

お前らは神の子供だから、神はお前らを立てて手柄を立てさせ、神から礼を言つようにしてやる^ ^

まあ心配すんなつて。行けば何もかも上手く行くように、大昔から仕組んであるw何もかも、定規で測つたように上手く行くぞ？

天地がうなるぞ。上下ひっくり返るぞ。

悪の罫にお前らはみんな騙されているが、もうすぐ目が覚める。目が覚めたら訪ねて来い。

分からないことがあつたらこの神の所へ来て聞けば、何でも分かる様にこの神示で知らせておいてやる。

秋が立つたら淋しくなるぞ・・・淋しくなったら訪ねてこい^ ^
いつまでも「我」を張っていると、いつまでもわけの分からんまま苦しむだけだぞ？

この神示も、それぞれの身魂によって、いろんな意味に取れるように書いておく。

自分へのメッセージを取り違いないように気をつけてくれ。

三柱と七柱が揃ったら、山に行けよ。

どうだハルヒよ。こんなもんだらう。

(口語訳はキヨンさんでした)

『上つ巻 第39帖』

地震かみなり火の雨降らして大洗濯するぞ。

よほどシツカリせねば生きて行けんぞ。

カミカカリが沢山出来て来て、わけの分らんことになるから、早く此の理^{みち}をひらいて呉れよ。

神界ではもう戦の見通しついてあるなれど、今はまだ臣民には申さねんのぞ。

改心すれば分りて来るぞ、改心第一ぞ、早く改心第一ぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|01|up/up|01|039.htm>

< >

すごいわキヨン、なかなかやるじゃない！お次はこのSOS団団長に任せなさあ〜い

地震、カミナリ、火事、おやじの雨を降らせて、大洗濯するわよ〜
もう！これからは、よっぽどシツカリしないと生きて行けないんだからね！
これから、いろあ〜んなへっぽこチャネラーや、なんちゃってシヤーマンが大勢出てきて、
みい〜んな好き放題なことを言っつて、も〜うわけ分ないことになるのよ！！

だから、はやく、この道を開いてちょうだい
神界ではもう、戦いの見通しは付いているけど、今はまだあんたたちには教えられないわ。

改心すれば分かるようになるわよ。改心第一よ。一に改心、二に改心、三四がなくて五に改心！ちよっと、聞いているの！？
急いで！改心第一よ！

ええ、もう終わりなの？短すぎてつままないわ。ほら、次は有希よ！

(口語訳は涼宮ハルヒさんでした)

『下つ巻 第28帖』

またたきの間に天地引繰り返る様な大騒動が出来るから、くどう気つけてあるのぞ、

さあといふ時になりてからでは間に合はんぞ、用意なされよ。

戦の手伝ひ位なら、どんな神でも出来るのぞが、この世の大洗濯は、われよしの神ではよう出来んぞ。

この方は元のままの身体かいた持ちてゐるのだから、いざとなれば何んなことでもして見せるぞ。

仮名ばかりの神示と申して馬鹿にする臣民も出て来るが、仕まひにはその仮名に頭カミ下げて来ねばならんぞ、

かなとは、の七ナぞ、神の言葉ぞ。

今の上の臣民、自分で世の中のことやりてゐるように思つてゐるが、みな神がばかして使つてゐるのに気づかんか、

気の毒なお役も出て来るから、早う改心して呉れよ。

年寄や女や盲、聾ばかりになりても、まだ戦やめず、神の国の人だねの無くなるところまで、やりぬく悪の仕組もつ見て居れんから、神はいよいよ奥の手出すから、奥の手出したら、今の臣民ではようこたえんから、

身魂くもりてゐるから、それでは虻蜂取らずだから、早う改心せよと申してゐるので、

このことよく心得て下されよ、神せけるぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|02|under/under|02|070.htm>

< >

またたきのようない瞬のあいだに、天地がひっくり返るような大騒動が起こる。だから何度も警告している。

いざという時になつてからでは間に合わない。用意して。

戦争の手伝いぐらいならどんな神でも可能だが、世界の建て直しはそのような独善的な神では不可能。

情報統合思念体は元のままの体を持っている。いざとなればどのよ
うな業でもして見せるだろう。

この神示を仮名だらけの神示だと言つて蔑む者たちも出てくるが、最期にはその仮名に頭カミを下げて来なければならなくなるだろう。

カナとは神カミの七ナ。すなわち情報統合思念体の言葉だ。

今の支配階級の者たちは自分の力で世の中を動かしているように思っているが、
実際のところ、それらはすべて情報統合思念体が仕組んだ、情報統合思念体の力によるものだ。

情報統合思念体と利害が一致している間のみ、彼らは利用されているだけ。なぜ気が付かないのかは不明だが。

このままでは悲惨な末路を辿らなければならない者も出てくる。早く改心してほしい。

老人や女性や視力障害者、聴力障害者ばかりになってもまだ戦争をやめず、

神の国の人種が居なくなるまで、殺戮をやりぬく悪の罫を、傍観していることはもうできない。

情報統合思念体は、いよいよ奥の手を出す。

情報統合思念体が奥の手を出したら、今の地球人ではとても耐えられないだろう。

身魂が曇っているから・・・。

もしもあなたが死んでしまったら、私もあなたの情報を得ることができなくなってしまう。

だから早く改心してほしいと言っている。

このことは良く覚えておいてほしい。情報統合思念体は急いでいる。

次・・・朝比奈さん・・・

(口語訳は長門有希さんでした)

『富士の巻 第27帖』

神の堪忍袋 切れるぞよ、臣民の思ふやうにやれるなら、やりて見よれ、

九分九厘でグレンと引繰り返ると申してあるが、これからはその場で引繰り返る様になるぞ。

誰れもよう行かん、臣民の知れんところで何してゐるのぞ、

神には何も彼も分りてゐるのざと申してあるがな、早く兜脱いで神にまつはりて来いよ、

改心すれば助けてやるぞ、鬼の目にも涙ぞ、まして神の目にはどんな涙もあるのざぞ、

どんな悪人も助けてやるぞ、どんな善人も助けてやるぞ。

江戸と申すのは東京ばかりではないぞ、今の様な都会みなエドであるぞ、

江戸は何うしても火の海ぞ。それより他 やり方ないと神々様申して居られるぞよ。

秋ふけて草木枯れても根は残るなれど、臣民かれて根の残らぬやうなことになるても知らんぞよ、

神のこのふみ早う知らしてやって呉れよ。

八と十八と五月と九月と十月に氣つけて呉れよ、これでこの方の神示の終わりぞ。

この神示は富士(二二)の巻として一つに纏^{まと}めておいて下されよ、今に宝となるのぞぞ。

http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|03|huji/fuji|03|107.htm

< >

ふええ、え、え〜つとあ・・・か、神さまの堪忍袋の緒が、切れてしまいそうなんですぅ〜。

みなさんが、神さまのお力添えなしに、ご自分達の力だけで、

世界を建て替えられるものなら・・・や、やってみてください！！
ひいひい > <

神さまは九分九厘まで悪くなったところで、グレンとひっくり返す

(口語訳は朝比奈みくるさんでした)

『天つ巻 第06帖』

天は天の神、国は国の神が治らすのであるぞ、お手伝ひはあるなれど。

秋の空のすがすがしさが、グレンと変わるぞ、地獄に住むもの地獄がよいのぞ、天国ざぞ、

逆様はもう長うはつづかんぞ、無理通らぬ時世が来たぞ、いざとなりたら残らずの活神様、御総出ぞぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|04|top/top|04|113.htm>

< >
ええ、お上手でしたよ朝比奈さん ^ ^ 次は僕ですな。

天は天の神、国は国の神が治めるんです。もちろん、みなさんのお手伝いも必要ですけどね ^ ^
秋の空のすがすがしさが、グレンと変わります。

地獄に住むべき者は、地獄に住むのが良いんですよ ^ ^ だって、自分にぴったりの世界なのですから、天国じゃないですか ^ ^
逆さまはもう長くは続きません。無理は通らないご時世が来ました。

いざとなったら活き神さま達が、残らず総お出ましになりますよ ^ ^

(口語訳は古泉一樹さんでした)

『夜明けの巻 第03帖』

天の異変気付けと申してあるが、冬の次が春とは限らんと申してあるが。

夏雪降ることもあるのさぞ。神が降らすのでないぞ、人民 降らすのさぞ。

人民の邪気が凝りて、天にも地にも、わけの判らん虫わくぞ。

訳の判らん病ひどくなって来るのさから、書かしてある御神名 分けて取らせよ。

旧九月八日までに何もかも始末しておけよ。心引かれる事 残しておくと、詰らん事で詰らん事になるぞ。

もう待たれんことにギリギリになってゐる事 判るであるがな。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|12|dawn/dawn|12|323.htm>

< >

天の異変に気付きなさいって言ってるでしょ。冬の次が春だとは限らないって言ってるでしょ。

夏に雪が降ることもあるのよ。神が降らせるんじゃないわ。人間が降らすのよ。

人間の邪気が固まって・・・空にも地面にもわけのわからない虫がわくわよ。

わけのわからない病気もひどくなってくるから、教えたご神名をみんなに教えてあげなさい。

旧暦の9月8日・・・西暦だとだいたい、10月のはじめから末ごろまでを指すわね。

それまでに、なにもかも整理しておきなさい。心残りを残しておく、詰まらないことで詰まらないことになるわ。

もう待てないほど、ギリギリになっていることが、分かるでしょう？

あらあら お次はネットのお友達かしら？

(口語訳は朝倉涼子さんでした)

予言その2

2. さらに日本は諸外国から軍事攻撃を受ける。

アメリカもイギリスもドイツもイタリアも、味方だと思っていた国もすべて敵になる。

最初に攻め込んでくるのはロシア。「北からくるぞ」「北に気をつける」とのこと。

『上つ巻 第25帖』

一日に十万、人死にだしたら神の世がいよいよ近づいたのだから、よく世界のことを見て皆に知らして呉れよ。

この神は世界中のみか天地のことを委まかされてある神の一柱だから、小さいこと言ふのではないぞ、

小さいことも何でもせなならんが、小さい事と臣民思つてゐると間違ひが起るから、

臣民はそれぞれ小さい事もせなならんお役もあるが、よく気をつけて呉れよ。

北から来るぞ。

神は気もない時から知らして置くから、よくこの神示、心にしめて居れよ。

一日一握りの米に泣く時あるぞ、着る物も泣くことあるぞ、

いくら買溜めしても神のゆるさんもの一つも身には附かんぞ、

着ても着ても、食つても食つても何もならん餓鬼の世ぞ。

早う神心にかへりて呉れよ。

この岩戸開くのは難儀の分らん人には越せんぞ、踏みつけられ踏みつけられている臣民のちからはお手柄さして、とことには名の残る様になるぞ。

元の世に一度戻さなならんから、何もかも元の世に一度は戻すのぞ

から、その積りで居れよ。

欲張っていろいろ買溜めしてゐる人、気の毒が出来るぞ、神よく気をつけて置くぞ。

この道に縁ある人には、神からそれぞれの神を守りにつけるから、天地の元の天の大神、くにの大神と共に、よく祀りて呉れよ。

<http://13.prowtok2.com/space-age/sunmoon/123|01|up/up|01|025.htm>

< >

一日に10万人もの人が死にはじめたら、いよいよ神の世界が近づいて来たということよ。

だから、よく世界のことを見て、みんなに知らせてあげてちょうだい。

この神は地上のことだけではなく、天地のすべてのことを任されている神なの。だから、小さなことで文句を言うんじゃないわよ。

お役目は、例え小さなことでも、一生懸命やらなければだめよ。

小さい事だと思っけないがしろにすると、間違いが起るわ。

人によつては小さい仕事もしなきゃいけない役目の人もいるから、よく気を付けてちょうだい。

北から来るわよ！

神はそんな気配もない今のうちから、こうして知らせておいてあげるんだから、よくこの神示を心に入れておいてちょうだい。

一日一握りのお米にも不自由して泣く時もあるのよ。着る物にも不自由して泣くこともあるのよ。

いくら買溜めしておいても、神のゆるさないものは一つも手に入らないわ。

着ても着ても、食べても食べてもどうにもならない、餓鬼の世になるのよ……。

早く神心にかえってちょうだい。

今回の岩戸開きは、苦勞なんてごめんだと思っている人には、とても越えられないわよ。

踏まれても踏まれても、耐え抜いた臣民の力こそ、やがて大きな手柄を立てて、歴史に永遠に名前が刻まれるようになるの。

元の神話の世界に、一度戻さなければならぬのよ。何もかも元の世界に一度は戻すのだから、そのつもりでいてちょうだい。

自分だけ助かろうと思って、欲張っているいろいろ買溜めしている人は、ひどい目にあうわよ。そのことは、神はしつこく警告しておくわ。

この道に縁のある人には、神からそれぞれ守護神をつけてあげるわ。

天地の元の天の大神・国の大神と一緒に、それぞれの守護神もよく祀ってちょうだい。

子供たちを守るためなら鬼にもなる・・・それが母なのよ。

(口語訳は可愛い奥様でした)

『上つ巻 第40帖』

北も南も東も西もみな敵ぞ、敵の中にも味方あり、味方の中にも敵あるのぞ。

きんの国へみなが攻めて来るぞ。

神の力をいよいよ現はして、どこまで強いが、神の力を現わして見せてやるから、

攻めて来て見よ、臣民の洗濯第一と言って居ること忘れるなよ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|01|up/up|01|040.htm>

< >

うは W W W 母ちゃんたち W W W なんか怖いお W W W W W W W W W W
W
つてか W W W え W W W ちょ W W W W W W W W W W W W W W W W

北も南も東も西も W W W W W W みんな敵なんだお W W W W W W W W

敵の中にも見方がいるし W W W W 味方の中にも敵がいるんだお W W W
ちょ W W W W W W W W W W

金の国、日本に W W W W みんなが攻めてくるお W W W W W W ちょ W W W W
バス W W W W W W

いよいよネ申の力を現して W W W W W W ネ申の力がどんなに強いかわ
W 見せてやるお W W W W

攻めてきてみるお W

臣民の洗濯が W W W W 第一だと言ってることを W W W W 忘れんなお W W
W お k W W W W W W W W W W

(^ ^) おっおっ

(口語訳はやる夫さんでした)

『富士の巻 第03帖』

メリカもギリスは更なり、ドイツもイタリもオロシヤも外国はみな
一つになりて神の国に攻め寄せて来るから、その覚悟で用意してお
けよ。

神界ではその戦の最中ぞ。

学と神力との戦と申しておろがな、どこから何んなこと出来るか、
臣民には分かるまいがな、

一寸先も見えぬほど曇りて居りて、それで神の臣民と思つてゐるの
か、畜生にも劣りてゐるぞ。

まだまだわるくなって来るから、まだまだ落ち沈まねば本当の改心

出来ん臣民沢山あるぞ。

玉とは御魂おんたまぞ、鏡とは内に動く御力ぞ、剣とは外に動く御力ぞ、これを三種みくさの神宝かむたからと申すぞ。

今は玉がなくなつてゐるのぞ、鏡と剣だけぞ、それで世が治まると思つてゐるが、肝腎の真中ないぞ、それでちりちりばらばらぞ。

アとヤとワの詞（四）の元要るぞと申してあるがな、この道理分らんか、

剣と鏡だけでは戦勝てんぞ、それで早う身魂みがいて呉れと申してあるのぞ。

上下ないぞ、上下に引繰り返すぞ、もう神待たれんところまで来てゐるぞ、

身魂みがけたら、何んな所で何んなことしてゐても心配ないぞ、世界の都にはあくが攻めて来てゐるのぞぞ。

<http://13.prok2.com/space-age/sunmoon/123|03|hujifujio3|083.htm>

< >

アメリカもイギリスももちろん、ドイツもイタリアもロシアも、外国はみんな

一つになつてチヨパールの国に攻めて来るニダ！その覚悟で用意しておくニダ！

神界ではその戦いの真つ最中ニダ！

理屈と神力との戦いだって言つてるニダ！

どこからどんなことが起こるか、チヨパールには到底分からんだらうニダがね！w（ホルホル

一寸先も見えないほど目が曇つていて、それで神の臣民のつもりニカ？畜生にも劣つてるニダよ！w

まだまだ悪くなるニダ！

まだまだ転落させて苦労させないと本当の改心が出来ないチヨパール

りばっかりニダね！w

玉は魂、鏡は内に働く力、剣は外に働く力ニダ！

これを三種の神宝と言うニダ！今は玉がなくなってるニダ！！鏡と剣だけニダ！

それで世の中が治まると思ってるニカ！？肝心の真ん中がないニダ！それじゃちりぢりばらばらニダ！

アとヤとワの詞の元がいると言ってるニダに、この道理も分かんないニカ！？

剣と鏡だけでは戦には勝てんニダ！だから早く身魂をみがいてくれと言ってるニダ！

上下なんてもんはないニダ！もう上下にひっくり返してやろうニカ！？（ふぁびょん！！）

もう神は待ちきれないところまで来ているニダ！

身魂さえみがけたら、どんな所でどんなことをしていても心配はいらんニダ！

神界の都には悪が攻めて来ているニダ〜！！

・・・
チヨパーリがいなくなると（グスン）、ウリはさびしいニダ・
。。。

（口語訳はニダーさんでした）

『富士の巻 第16帖』

あらしの中の捨小舟ぞ、どこへ行くやら行かすやら、船頭さんにも分かるまい、

メリカ、キリスは花道で、味方と思った国々も、一つになりて攻めて来る、

梶も櫂^{かい}さへ折れた舟、何うすることもなくなりに、

苦しい時の神頼み、それでは神も手が出せぬ、

腐りたものは腐らして肥料になりと思へども、肥料にさへもならぬもの、沢山出来て居らうがな、

北から攻めて来るときが、この世の終り始めなり、
天にお日様一つでないぞ、二つ三つ四つ出て来たら、この世の終りと思へかし、

この世の終りは神国の始めと思へ臣民よ、
神々様にも知らすぞよ、神はいつでもかかれるぞ、人の用意をいそぐぞよ。

http://13.pro.tok2.com/space-
age/sunmoon/123|03|hujii/fujii|0
3|096.htm

< >

お帰りなさいませ、ご主人さま、お嬢さま！

この先、わたくし達が置かれるでありますよう状況というのは、嵐の中の、捨て小舟のようなものでございます。どこへ行くやら行かせるやら・・・

船頭さんにも分からない、そのような状況になるのです。

アメリカもイギリスも、最期の大暴れをいたします。

味方だと思っていた国々も、一つになって攻めてまいります。

「かじ」も「かい」も折れた舟のように・・・どうすることもできなくなるのです。

その時になって、苦しい時の神頼みしても、それでは神さまも助けられません。

腐ったものは腐らせて、肥料にでもしようと思っても、肥料にさえならないものが、沢山できてまいります。

北から攻めて来るときが、この世の終わりの始まりでございます。空にお日様が一つではなくなるのです。

二つ、三つ、四つと出てきたら、この世の終わりだと思ってください

いませ。

しかし、この世の終わりは、神国の始めでもあるのです、ご主人さま、お嬢さま！

このことは神さま達にもお知らせしておきますね^ ^
神さまは、いつでもかかれる準備ができていらっしやいます。ご主人さま、お嬢さまの準備を急いでくださいませ。

あ、そろそろ、お茶のお時間でございますね

(口語訳はメイドさんでした)

『富士の巻 第23帖』

世界は一つになったぞ、

一つになって神の国に攻め寄せて来ると申してあることが出て来たぞ。

臣民にはまだ分るまいなれど、今に分りて来るぞ、
くどう気つけて置いたことのいよいよが来たぞ。

覚悟はよいか、臣民一人一人の心も同じになりて居るがな、
学と神の力との大戦ぞ、かみくに神国の神の力あらはす時が近うなりたぞ。
今あらはすと、助かる臣民 殆んどないから、神は待てるだけ待ち
てゐるのぞ、

臣民もかあいだが、元をつぶすことならんから、いよいよとなりたら、何んなことありても、
ここまでしらしめてあるのだから、神に手落ちあるまいがな。

いよいよとなれば、分っていることなれば、なぜ知らさぬのぞと申すが、

今では何馬鹿なと申して取り上げぬことよく分つてゐるぞ。

因縁のみたまにはよく分るぞ、この神示読めばみたまの因縁よく分るのぞ、

神の御用する身魂は選りぬいて引張りて居るぞ、
おそし早しはあるなれど、いづれは何うしても、逃げてもイヤでも
御用さすようになりて居るのぞ。
北に氣つけよ、

東も西も南も何うする積りか、神だけの力では臣民に気の毒出来る
のぞ、

神と人との和のはたらきこそ神喜ぶのぞ、

早う身魂みがけと申すことも、悪い心 洗濯せよと申すことも分か
るであろう。

http://13.pro.tok2.com/space-
age/sunmoon/123|03|huji/fuji|0
3|103.htm

< >

みなさま、ごきげんよう。

世界は、一つになりましたわ。

一つになって神の国に攻め寄せて来ると…以前より申し上げていた
ことが実現いたします。

みなさまにはまだ、お分かりにならないでしょうけど、今にお分か
りになりますわ。

くどくどと申し上げていたことが、いよいよ実現する時がまいりま
したの。

覚悟は、およろしくって？みなさま一人一人のお心も、同じになっ
てらっしゃるわ。

理屈と神の力との大戦ですよ。神国の神の力をあらわす時が、近
くなりましたわ。

いま神力を現すと、助かる人がほとんどいないので、神は待てるだ
け待っていますのよ。

神はみなさまを愛しく思ってたっしゃるけど、みなさまに情けをか

けるあまり、元の世界まで

潰すわけにはまいりませんから、いよいよとなったら、どんなことがあっても……

でも、事前にこれほどお教えしてあるのですから、神に手落ちはありませんでしょう？

その時になると、「分っていたことなら、なぜ教えてくれなかったのですか！」と仰る方が、

今は「何を馬鹿な」と言つてこの神示を軽んじていらっしやること、よく存じております。

縁のある身魂には、よく分かるはずですわ。この神示を読めば、身魂の縁がよく分かりますの。

神のお手伝いをする身魂は、選りすぐつて引つ張つていますのよ。

遅かれ早かれ、いずれはどうしても、逃げてモイヤでも、お手伝いをしなければならぬように、そのようになっていきますの。

北にお気をつけあそばして。

東も西も南も、みなさまのお力だけで、どうなさるおつもりですか。

神のお力だけでも、何もできませんわ。みなさまのご助力がなければ、大災厄を招いてしまいます。

神と人との共同作業こそ、神は喜ばれますの。

これで、早く身魂をお磨きあそばせと言っているわけも、悪い心をお洗濯あそばせと言っているわけも、よくお分かりでしょう？

お茶はティー・フェレゼを。それと、生アーモンドと干し杏子をいただけるかしら。御苦労さま。

(口語訳はお嬢様でした)

富士（二二）を目ざして攻め寄する、大船小船あめの船、
赤鬼青鬼黒鬼や、おろち悪狐を先陣に、
寄せ来る敵は空蔽ひ、海を埋めて忽ちに、天日暗くなりけり、
折しもあれや日の国に、一つの光 現はれぬ、
これこそ救ひの大神と、救ひ求むる人々の、目にうつれるは何事ぞ、

攻め来る敵の大将の、大き光と呼応して、一度にドツと雨ふらす、
火の雨何んぞたまるべき、

まことの神はなきものか、これはたまらぬ兎も角も、生命あつての
物種と、

兜を脱がんとするものの、次から次にあらわれぬ、
折しもあれや時ならぬ、大風起こり雨来たり、大海原には竜巻や、
やがて火の雨 地震ひ、山は火を吹きどよめきて、

さしもの敵も悉く、この世の外にと失せにけり、風やみ雨も収まり
て、

山川静まり国土の、ところどころに白衣の、

神のいぶきに甦る、御民の顔の白き色、岩戸ひらけぬしみじみと、
大空仰ぎ神を拝み、地に跪き御民らの、目にすがすがし富士の山、
富士は晴れたり日本晴れ、普字は晴れたり岩戸（一八十）あけたり。

http://13.pro.tok2.com/space-
age/sunmoon/123|03|hujifuji|0
3|104.htm

< >

本日のお嬢様は、お客様がいらしてくださったおかげで、たいへん
ご機嫌がよろしいご様子。

まことに言ばしい限りでございます。 ^ ^

富士を目指して攻め寄せてまいりますのは、大船・小船・天の船で

ございます。

先陣は、赤鬼、青鬼、黒鬼や、ウワバミ、悪狐・・・

寄せてくる敵は空をおおい海を埋め、たちまち太陽も隠されて暗くなりましょう。

おりしもその時、日の国に、一つの光が現われるのです。

これこそ救いの大神だと、救いを求める人々の目に映るものは、何という事でしょう！

それは攻め来る敵の大将だったのです！

そして大な光と呼応して、一度にドツと火の雨を降らせるのです！

これには助かる者はありません・・・。

この世に神はいないのかと、みなが悲観に打ちのめされてしまうことが、起こるのです・・・。

これはたまらない、ともかく命あつての物種と、降参しようとする者も出てまいります。

しかし敵は構わず次々と押し寄せてまいりますで、降参することもできないのでございます。

おりしもその時、思いがけない大風が起こり、雨が降り、大海原には竜巻が起こります。

やがて火の雨が地を震わせ、山は火を吹いて鳴り響きます。

これにはあれほどの敵も恐れおののいて、ことごとくこの世の外へと消え失せましょう。

風がやみ、雨もおさまって、山も川も静まったころ、

国土のいたる所に、神の息吹によって甦った、白絹のように無垢な臣民の、白いお顔が見られるのでございます。

彼らはいま、岩戸が開けたのだと、しみじみと感じ入っていらっしやいます。

そして大空あおぎ、神を拝み、地にひざまずく彼らの目には、さすがに富士の山が映るのでございます。

富士は晴れたり日本晴れ、富士は晴れたり。このようにして岩戸は開けるのでございます。

お粗末さまでございました。 ^ ^

(口語訳は執事さんでした)

『富士の巻 第26帖』

戦は一度おさまる様に見えるが、その時が一番気づけねばならぬ時ぞ、

向ふの悪神は今度は、の元の神を根こそぎに無きものにして仕まふ計画であるから、その積りでファンドシ締めて呉れよ、

誰も知れんやうに悪の仕組してゐること、神にはよく分りてゐるから心配ないなれど、臣民助けたいから、神はじつところへてゐるのぞぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|03|huji/fuji|03|106.htm>

< >

お兄ちゃん！

戦争は一回おさまるように見えるんだけど、その時が一番気をつけなきゃいけない時なのよ！

向こうの悪神は、今度こそ日本を根こそぎ滅ぼす計画をしてるんだから！

そのつもりで気合を入れてよね！

やつらは誰にも知られなように、悪いことをたくらんでいるの！

でもそのことは、神さまにはよく分かっているから、心配ないわ。

もう！お兄ちゃんを助けたいから、神さまは建て替えの時期を、延ばしに延ばして、じいつと耐えているのよ？

もう！聞いているの・・・あれえ？お兄ちゃん、すごく小さい人が
いるよ！

(口語訳は妹さんでした)

予言その3

3・人々は四つん這いやら、逆立ちやら、ノタウチに、一時はなる。

食べ物も、着るものも、住むところもなくなる。

日本の国土は九分九里まで荒廃。人口は3分の1に減少（一説によると3%）。

『上つ巻 第02帖』

親と子であるから、臣民は可愛いから旅の苦をさしてあるのに、苦に負けてよくもここまでおちぶれて仕まうたな。

鼠でも三日先のことを知るのに、臣民は一寸先さへ分らぬほどに、よう曇りなされたな、

それでも神の国の臣民、天道人を殺さず、

食べ物がなくなっても死にはせぬ、ほんのしばらくぞ。木の根でも食うて居れ。

闇のあとには夜明け来る。神は見通しざから、心配するな。

手柄は千倍万倍にして返すから、人に知れたら帳引きとなるから、人に知れんやうに、人のため国のため働けよ、それがまことの神の神民ぞ。

酒と煙草も勝手に作って暮らせる善き世になる、それまで我慢出来ない臣民 沢山ある。

早く（モト）の神の申す通りにせねば、世界を泥の海にせねばならぬから、

早うモト心になりて呉れよ、神頼むぞよ。

盲が盲を手を引いて何処へ行く積りやら、

気のついた人から、まことの神の入れものになりて呉れよ、

悪の楽しみは先に行くほど苦しくなる、神のやり方は先に行くほど

だんだんよくなるから、初めは辛いなれど、さきを楽しみに辛抱して呉れよ。

配給は配給、統制は統制のやり方、神のやり方は日の光、臣民ばかりでなく、草木も喜ぶやり方ぞ、日の光は神のこころ、稜威ぞ。人の知恵で一つでも善き事したか、何もかも出来損なひばかり、にっちもさっちもならんことにしてゐて、まだ気がつかん、盲には困る困る。

救はねばならず、助かる臣民はなく、泥海にするは易いなれど、それでは元の神様にすまず、

これだけにこと分けて知らしてあるに、きかねばまだまだ痛い目を見せねばならん。

冬の先が春とは限らんぞ。モトの国を八つに切つて殺す悪の計画、モトの国にも外国の臣が居り、外国にも神の子がある。岩戸が明けたら一度に分かる。

```
http://13.pro.tok2.com/space-  
age/sunmoon/123|01|up/up|01|00  
2.htm
```

< >

ちよつとみんな集まつてくれ。プロフェッサーからの、極秘の任務なんだ。

私たちに、この古い日本語で書かれた予言書を、現代語に訳してほしいらしい。

みんなで手分けをして、協力してほしい。まずはリーダーの私からやってみよう。

私たちは親と子供だから、君たちが愛おしいから、旅の苦勞をさせている。

それなのに、苦勞に負けてよくもまあ・・・ここまで落ちぶれてしまったものだなあ ^ ^ ;

ねずみでも三日先のことが分かるといふのに、君たちは一寸先さえ分らないほど・・・よくもまあ曇ったものだなあ ^ ^ ;

それでも神の国の臣民や、天の道を歩んでいる人達を、殺させたりはしない！

食べ物が無くなっても死にはしない。ほんのしばらくさ。木の根でも食べているんだ ^ ^

闇のあとには夜明けが来る。神はなんでもお見通しだから、心配しないでくれ。

君たちの手柄は千倍、万倍にして返す。でも人に見てもらおうというような、偽善はだめだ。

誰にも知られないように、人のため国のために働くんだ。それが真の神の神民さ ^ ^

お酒もタバコも勝手に作って暮らせる、いい世の中にする予定だが・・・それまで我慢できない地球人が、沢山いるようだな ^ ^ ;

早くモトの神の言うとおりにしなければ、世界を泥の海にしなればならなくなる。

だから早くモト心に戻ってほしい。神がこうして君たちに頼んでい
るんだぞ？ ^ ^

盲人が盲人の手を引いて、どこへ行くつもりなんだい？ ^ ^ ;
気づいた人から、真の神の入れ物になってくれ。

悪^{アク}の楽しみは先に行くほど苦しくなる。でも神のやり方は、先に行
くほどだんだん良くなる。

だから初めは辛いだろうけど、先を楽しみにして我慢してほしい。
配給は配給だけ、統制は統制だけだ。でも、神のやり方は太陽の光

なんだ。
地球人だけではなく、草や木も喜ぶやり方なんだ。太陽の光は神の

心、稜威さ ^ ^
今まで地球人の知恵だけで、何か一つでも完璧なことができたのか

い？ ^ ^ ;
何もかも・・・出来そこないばかりだよ ^ ^ ;

にうちもさつちも行かないことにしていて、まだ気がつかないのかい？ ^ ^

まったく、これだから、めくらさんには困る困る・・・ ^ ^ ; 私たちは地球人を救わなければならぬのだが、その・・・助かるべき地球人がいないんだ ^ ^ ;

もう君たちを・・・見捨ててしまつて、世界を泥の海にするのは簡単だが ^ ^ ;

・・・でも、それでは元の神様に申しわけない。

これだけ言つてるのに、まだ聞かないなら、まだまだ痛い目を見せなければならぬ ^ ^ ;

冬の先が春とは限らないんだ。

モトの国を八つに切つて殺す悪の計画：日本にも売国奴がいるし、外国にも神の子がいる。

岩戸が明けたら一度に分かるさ・・・

すまない、私にはこれがせいっぱいだ・・・なんだか地球人をおどかしているようで、心苦しい・・・orz

(口語訳はアーサーさんでした)

『上つ巻 第35帖』

死んで生きる人と、生きながら死んだ人と出来るぞ。

神のまにまに神の御用して呉れよ、

殺さなならん臣民、どこまで逃げても殺さなならんし、生かす臣民、どこにゐても生かさならんぞ。

まだまだ悪魔はえらい仕組してゐるぞ、神の国千切りと申してあるが、^{たと}喻へではないぞ、

いよいよとなりたら神が神力出して上下引っくり返して神代に致すぞ、とはの神代に致すぞ。

細かく説いてやりたいなれど、細かく説かねば分らん様では神国の民とは云はれんぞ。

外国人には細かく説かねば分らんが、神の臣民には説かいても分る身魂授けてあるぞ、

それで身魂みがいて呉れと申してあるのぞ。

それとも外国人並にして欲しいのか、曇りたと申してもあまりぞ。

何も心配いらんから、お山開いて呉れよ、江戸が火となるぞ、神急けるぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|01|up/up|01|035.htm>

< >

フフフ、アーサーの口から、冷たい言葉が出るのを、初めて聞いたかもしれないな・・・さて、

死んで生き返る人と、生きてはいるが死んだも同然の人とができる。

神の言われるままに、神の仕事をしてくれ。

殺さなければならぬ地球人は、どこまで逃げようが殺さなければならぬし、

生かさなければならぬ地球人は、どこにいても生かさなければならぬ。

まだまだ悪魔は大変な罫を仕掛けている。神の国が千切りになると言っているが、これは例えではない。

いよいよその時になったら、神が神力を出して上下ひっくり返し、神の時代にする。永遠の神の時代にする。

細かく教えてやりたいが、細かく教えなければ分らないようでは神国の民とは言えないな。

外国人には細かく教えてあげなければ分らないが、日本人には教

えなくても分かる身魂を授けてある。

それではやく身魂をみがいて、本来の力を発揮できるようにってほしいと言っているんだ。

それともなにか？身魂まで外国人並にして欲しいのか？そんな体たらくでは、曇っているとは言え、あまりにひどすぎるぞ。

何も心配はいらないから、お山を開いてくれ。江戸が火となる。神は急いでいる。

ほら、次は君だ。

(口語訳はイザムさんでした)

『上つ巻 第36帖』

元の神代に返すといふのは、たとへでないぞ。

穴の中に住まなならんこと出来るぞ、生の物食^{なま}つて暮らさなならんし、

臣民取り違ひばかりしてゐるぞ、何もかも一旦は天地へお引き上げぞ、われの慾ばかり言つてゐると大変が出来るぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|01|up/up|01|036.htm>

< >

ん〜と、昔の日本語ってむずかしいな^ ^・ええつと、

元の縄文時代に戻すっていうのは、例えじゃあない！

穴ぐらの中に住まねえといけなくなることもあるし、生のものを食つて暮らさねえといけなくなることもある！

地球人は取り違ひばかりしている！何もかも一旦は天と地に返さね

えといけねえんだぜ！

自分の欲ばかり言っていると、大変な目にあうぜ！

どうだ！こんな感じか！

(口語訳はウォルトさんでした)

『上つ巻 第38帖』

残る者の身も一度は死ぬことあるぞ、死んでからまた生き返るぞ、三分の一の臣民になるぞ、これからがいよいよの時ぞぞ。

日本の臣民同士が食い合ひするぞ、かなわんと云うて外国へ逃げて行く者も出来るぞ。

神にシツカリと縋りて居らん^{すが}と何も分らんことになるから、早く神に縋りて居れよ、神ほど結構なものはないぞ。

神にも善い神と悪い神とあるぞ、雨の日は雨、風の日は風といふこと分らんか、それが天地の心ぞ、天地の心を早う悟りて下されよ。

いやならいやで他に代りの身魂があるから神は頼まんど、いやならやめて呉れよ。無理に頼まんど。

神のすること一つも間違ひないので、よく知らせを読んで下されよ。

http://13.pro.tok2.com/ space -
age/sunmoon/123|01|up/up|01|03
8.htm

< >

説明しよう！

生き残る者の体も、一度は死ぬのである。死んでからまた生き返るのである。

人口は三分の一になってしまつのである。これからが、いよいよなのである。

日本人同士が食い合いをするようになるのである。な、なんと！これはにわかには信じられない話なのである・・・。

耐えられないと言つて外国に逃げていく者も出るのである。神にしつかりとすがつていなければ、何も分からなくなつてしまつのである。

はやく神にすがるのである。神ほど頼りになるものはいないのである。

神にも良い神と悪い神とがいるのである。雨の日は雨、風の日は風ということが分からないのであるか？

それが天と地の心というものである。天地の心をはやく悟つてほしいのである。

嫌なら嫌で、他に代わりの身魂はいくらでもいるのであるからして、神は無理に頼んだりはいないのである。

嫌ならやめてくれて、結構なのである。無理には頼まないのである。

神のすることに、一つも間違いはないのである。よくこの神示を読んでほしいのである。

うむむ、それにしても地球文明をまるごと建て直す計画だとは、とほうもない話なのである。

一体、いかなる科学によるものなのであろうか？

(口語訳はエジソンさんでした)

『富士の巻 第05帖』

喰うものがないと申して臣民不足申してゐるが、まだまだ少なくなりて、一時は喰う物も飲む物もなくなるのぞ、

何事も行^{じや}であるから喜んで行して下されよ。
滝に打たれ、蕎^{そば}麦粉喰^くうて行者は行してゐるが、断食する行者もゐるが、

今度の行は世界の臣民みな二度とない行であるから、厳しいので、この行 出来る人と、よう我慢出来ない人とあるぞ、この行 出来ねば灰にするより他ないので、

今度の御用に使ふ臣民はげしき行さして神うつるので。

今の神の力は何も出ては居らぬので。

この世のことは神と臣民と一つになりて出来ると申してあるがな、早く身魂みがいて下されよ。

外国は、神の国は、と申してあるが、は神ぎ、は臣民ぞ、ばかりでも何も出来ぬ、ばかりでもこの世の事は何も成就せんのぞ、

それで神かかれるやうに早う大洗濯して呉れと申してゐるので、神急^せけるぞ、この御用大切ぞ、神かかれる肉体 沢山要るので。

今度の行は を綺麗にする行ぞ、掃除出来た臣民から楽になるのぞ。

どこに居りても掃除出来た臣民から、よき御用に使つて、神から御礼申して、未代名の残る手柄立てさすぞ。

神の臣民、掃除洗濯出来たらこの戦は勝つので、今は一分もないぞ、一厘もないぞ、

これで神国の民と申して威張つてゐるが、足許からビツクリ箱が書いて、四ツん這ひになつても助からぬことになるぞ、

穴掘りて逃げても、土もぐつてゐても灰になる身魂は灰ぞ、どこにゐても助ける臣民 行つて助けるぞ、

神が助けるのでないぞ、神助かるので、臣民も神も一緒に助かるのぞ、この道理よく腹に入れて呉れよ、

この道理分りたら神の仕組はだんだん分りて来て、何といふ有難い事かと心がいつも春になるぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space>

< >

食う物が無いと言って、地球人は不足ばかり言っているが、まだまだ少なくなつて、一時は食う物も飲む物もなくなるのだ。

しかし何事も修行だ。修行は喜んでやってくれ。

日本の行者などは、滝に打たれたり、蕎麦粉を食ったり、断食したりして修行するが、

今度の修行は、世界中の地球人の、後にも先にも二度とない修行だ。そんなものとは比べ物にならないほど厳しいのだぞ。

この修行はできる者と、とても我慢できない者がいるだろう。この修行ができない者は、灰にしてしまうより他にない・・・。

今度の仕事に使う地球人には、わざと激しい修行をさせて、神をつすのだ。

今はまだ、神の力は何も出てきてはいない。

この世界のこと、神と地球人が一つになって、初めてできるのだと言っていろいろだろう。

早く身魂をみがいてくれ。

外国は、神の国は、と言ってあるが、は神、は地球人だ。

だけでは何もできない。、だけでも、この世界の事は何も成就できない。

それで、人に神がかかれるように、早く身魂の大洗濯をしてくれと言っているのだ。

神は急いでいる。この仕事は大切だぞ。神がかかれる肉体が、たくさん要るのだ。

今度の修行は、を綺麗にする修行だ。掃除の出来た地球人から楽に暮らせるようになる。

どこに居ようが関係ない、掃除の出来た地球人から良い仕事に使い、神から礼を言って、末代まで名の残る手柄を立てさせるぞ。

神の臣民の掃除洗濯さえ完了すれば、この戦いは勝つのだ。しかし今はそんな可能性は一分もない。一厘もない。

こんな状態で神国の民だと言って威張っているが、そんな連中は足元からビツクリ箱が開いて、四つん這いになっても助からないことになるぞ。

穴を掘って逃げて、土にもぐっていても、灰になる身魂は灰になるしかないのだ。

助ける臣民は、どこにいようと行って助けるぞ。神が助けるのではない、神が助かるのだ。

臣民も神も一緒に助かるのだ。この道理をよく腹に入れておいてくれ。

この道理が分かったら、神の仕組みがだんだんと分かってくる。そして何というありがたい事かと、喜びで心がいつも春になるぞ。

ふむ・・・これは祐太には少し難しいかもしれんな。

(口語訳はオーディーンさんでした)

『富士の巻 第10帖 (090)』

いよいよ戦烈しくなり喰ふものもなく何もなくなり、住むところもなくなりたら行く所なくなるぞ。

神の国から除かれた臣民と神の臣民と何ちらがえらいか、その時になりたらハッキリするぞ、

その時になりて何うしたらよいかと申すことは神の臣民なら誰でも神が教えて手引張ってやるから、今から心配せずに神の御用なされよ、

神の御用と申して自分の仕事をなまけてはならんぞ。

何んな所にゐても、神がスツカリと助けてやるから、神の申すやうにして、今は戦して居りて呉れよ。

てんし様御心配なさらぬ様にするのが臣民のつとめぞ。

神の臣民 言ことに気をつけよ、江戸に攻め来たぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|03|huji/fuji|03|090.htm>

< >

よし！じゃあ、いっちょ気合いを入れて訳・・・れ・・・

あの・・・

アーサー、ちよっと、手伝ってくれる？・・・ん。
わかった、ありがとう！

いよいよ戦争が激しくなつて、食べ物もなくなつて、何もなくなつて、住むところもなくなつて、行く所もなくなるぞ。

神の国から排除された臣民と、神の臣民、どっちの方が偉いか、その時になったらハッキリするぞ。

その時になってどうしたらいいか分からなくても、神の臣民なら誰でも、

神がどうしたらいいのか教えて、手をひっぱってやるから、今から心配せずに神の手伝いをしてくれ。

でも神の仕事が優先だからと言って、自分の仕事をなまけちゃだめだぞ。

身魂さえみがけていれば、どこにいても、神がスツカリ助けてやるから、神の言うとおりにして、今は悪と戦っていてくれ。

てんし様に心配をかけないようにするのが、臣民のつとめだぞ。

神の臣民は、悪の甘い言葉に気をつけてくれ。江戸に攻めて来たぞ。

へへ〜ん、どうだ！麻美、わかるか？手伝ってやるうか？

(口語訳は久磁耕平くんでした)

『富士の巻 第18帖』

神々様みなお揃ひなされて、雨の神、風の神、地震の神、岩の神、荒の神、五柱、七柱、八柱、十柱の神々様が

チャンとお心合はしなされて、今度の仕組の御役きまりてそれぞれに働きなされることになりたよき日ぞ。

かのとち辛酉はよき日と知らしてあるがな。

これから一日々々烈しくなるぞ、臣民 心得て置いて呉れよ、

物持たぬ人、物持てる人より強くなるぞ、

泥棒が多くなれば泥棒が正しいと云ふことになるぞ、理屈は悪魔と知らしてあるが、

保持の神様ひどくお怒りぞ、臣民の食ひ物、足りるやうに作らしてあるに、

足らぬと申してゐるが、足らぬことないぞ、足らぬのは、やり方わるいのぞぞ、

食ひて生くべきもので人殺すとは何事ぞ。

それぞれの神様にまつはればそれぞれの事、何もかなふので、

神にまつはらずに、臣民の学や知恵が何になるのか、底知れてゐるのでないか。

戦には戦の神あるぞ、

お水に泣くことあるぞ、保持の神様御怒りなされてゐるから早やう心入れかへてよ、

この神様お怒りになれば、臣民 日干しになるぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/12303huji/fuji03098.htm>

< >

ふふん、ご心配なく！こう見えても、古文は得意なんだから。いい、聞いてなさい？

今日は神さま達がみんなお揃いです。

雨の神、風の神、地震の神、岩の神、荒の神、五柱、七柱、八柱、十柱の神さま達が、ちゃんとお心合わせをなさって、

今度の仕組みの役割も決まって、それぞれ働かれることになった良い日です。辛酉は良い日だと、教えてあったでしょう？

これからは一日一日と激しくなりますよ。臣民は心得ておいてください。

物を持たない人が、物を持つ人よりも強くなります。

泥棒が多くなれば、泥棒が正しいということになります。このような屁理屈は、悪魔だと教えてあるでしょう。

食物の神さまは、ひどく怒っていらっしやいます。

臣民の食べ物、十分、足りるように作らせてあるのに、足りないと言っていますね。

足りないわけがありません！！足りないのは、臣民のやり方が悪いのです。

食べて生きてゆくべきもので、人を殺すとは何事ですか！！

それぞれの神さまに頼れば、それぞれのことは何でも叶うですよ。

神さまを頼らずに、臣民の学や知恵だけで、何になるのですか？

底が知れているではありませんか。

戦争には戦争を担当する神さまがいるのです。

水がなくなっただけ泣くこともありませんよ。

食物の神さまが怒っていらっしやいますから、早く心を入れ替えてください。

この神さまが本気で怒ったら、臣民は日干しになってしまいますよ。

ふう！ちよつと難しかったわ。

(口語訳は水沢麻美ちゃんでした)

『富士の巻 第20帖』

今のうちに草木の根や葉を日に干して貯へておけよ、保持つげもちの神様お怒りざから、九十四は五分位しか食べ物とれんから、その積りで用意して置いて呉れよ。

神は気もない時から知らして置くから、この神示よく読んで居れよ。

一握りの米に泣くことあると知らしてあるがな、

米ばかりでないぞ、何もかも臣民もなくなるところまで行かねばならんのぞ、

臣民ばかりでないぞ、神々様さへ今度は無くなる方あるぞ。

臣民と云ふものは目の先ばかりより見えんから、呑気なものであるが、

いざとなりての改心は間に合はんから、くどう気つけてあるのぞ。

日本ばかりでないぞ、世界中はおるか三千世界の洗濯と申してあろうがな、

神にすがりて神の申す通りにするより他には道ないぞ、それで神々様を祀りて

上の御方からも下々からも朝に夕に言霊がこの国に満つ世になりたら神の力現はすのぞ。

江戸に先ず神まつれと、くどう申してあることよく分かるであるがな。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/12303huji/fuji03100.htm>

< >
うわぁ、麻美ちゃんすごい！ぼくなんかむずかしくって、ちっとも分かんないよ・・・

ねえ、オーデイーン、手伝ってくれない？ オ「よしよし」

「

今のうちに草木の根や葉を天日に干して貯えておけよ。食物の神は怒っている。

今後94%の農地は収穫が半分程度になってしまつから、そのつもりで用意しておいてくれ。

神は前兆もない今のうちから、こうして教えておくのだから、この神示をよく読んでいろよ。

一握りの米にも泣くことがあると教えてあるだろう。

米だけではない。何もかも、地球人もいなくなるところまで行かなければならないのだぞ。

地球人だけではない。今度は神々でさえ無くなる方がいるのだ。

地球人というものは、目先のことしか見えないから、呑気なものだが、

その時になって改心しようと思つても間に合わん。だから、くどくどと言っているのだ。

日本ばかりではない。世界中はおろか、三千世界の洗濯だと言っているだろう。

神にすがつて、神の言う通りにするより、他に道はないぞ。

それで神々を祀つて、上の方からも下の方からも、朝も夕も

言霊がこの国に満ちる世の中にする。そうしてはじめて神の力を現わすのだ。

江戸にまず神をまつてくれと、くどくどと言っているわけが、これでもよく分かつただろう。

ありがとう、オーディーン！あれ、ひとつ余ってるね。わ！

（口語訳は久磁祐太くんでした（でもほとんどオーディーンがやりました））

『天つ巻 第25帖』

今に臣民何も言へなくなるのざぞ、神烈しくなるのざぞ、目あけて居れんことになるのざぞ。

四つん這ひになりて這ひ廻らならんことになるのざぞ、のたうち廻らならんのだぞ、

土にもぐらならんのだぞ、水くぐらならんのだぞ。

臣民可哀さうなれど、かうせねば鍛へられんのだぞ、

この世始まつてから二度とない苦労ざが、我慢してやり通して呉れよ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|04|top/top|04|132.htm>

< >

ミクロマン〜！予を仲間外れにするとはいどいではないかあ！予もミクロマンなんだぞ〜！

なんだ、ニホンゴとかいうのを翻訳していたのか？

予にまかせろ！こう見えても語学は得意中の得意なのだ！えーと、どれどれ・・・あれ・・・？

し、しまった〜！予はカンジとヒラガナとカタカナはまだ勉強してないんだった〜！！

オジン〜！オジン、助けてくれ〜！！

オ「わかったわかった

」

今に地球人は何も言えなくなるぞ。神が激しくなる。目を開けていられないことになるぞ。

四つん這いになって這いまわらなければならんことになる。のたうち廻らねばならんのだぞ。

土にももぐらねばならない。水もくぐらねばならない。

そんな目にあつて地球人は可哀想だが、こうでもしなければ鍛えられないのだ。

この世界が始まってから二度とない苦勞だが、我慢してやり通してほしい。

うむ、見事な出来栄えだ！さすがは予が手伝つただけのことはアイタイ！

なぜ予を蹴るのだ！イタタタ、イタいつて！ハッ！誰だあれは！すごい美人がいるぞ！

見るミクロマン！なんと美しい！ぜひとも予の妃にしたい！

(口語訳はMr.グレイさんでした(でもほとんどオーディーンがやりました))

予言その4

4・もう日本は終わりだと思われたとき、諸外国に日本よりもっと酷いことが起こる。

(根の国、日本に起こったことは外国にも起こるので)

『日の出の巻 第07帖』

おろしやにあがりておりた極悪の悪神、愈々神の国に攻め寄せて来るぞ。

北に気づけと、北が愈々のキリギリざと申して執念くつん気づけてありた事近ふなりたぞ。

神に縁深い者には、深いだけに見せしめあるのぞぞ。国々もその通りぞぞ、神には依怙えい無いのぞぞ。

ろしあの悪神の御活動と申すものは神々様にもこれは到底かなはんと思ふ様に激しき御力ぞ。

臣民と云ふものは神の言葉ことばは会得らんから悪神の事に御とつけるのは会得らんと申すであるが、

御とは力一杯の事、精一杯の事を申すのであるぞ。

何処から攻めて来ても神の国には悪神には分らん仕組致してあるから、心配ないのぞぞ、

愈々と成りた時には神が誠の神力出して、天地ゆすぶってトコトン降参ざと申す処までギユウギユウと締めつけて、

万劫末代いふ事聞きますと改心する処までゆすぶるから、神の国、神の臣民 心配致すでないぞ、

心大きく御用して呉れよ、何処に居ても御用してゐる臣民助けてやるぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/12307sun/sun07>

< >

ロシアに上がっておった極悪の悪神が、いよいよ神の国に攻め寄せて来るのよ。

北に気をつけよと、北がいよいよギリギリじゃと、くどくどと申しであつた事が、いよいよ近付いてきたのじゃ。

そうしたら、この悪神と縁の深い者は、深ければ深いほど見せしめにしてやるのよw(にやり

ちなみに、この悪神と縁の深い国々も、同じ運命よw(はあと
神はえこひいきはせぬゆえ^ ^

ロシアの悪神の「御活動」というものは、神々でさえも「これは到底かなわぬ」と思うほどの激しい「御力」じゃ。

ところで、臣民というものは神の言葉が分からぬゆえ、「悪神のする事にまで「御」とつけるのはおかしい」と申すであるが、

「御」とは力一杯やる事、精一杯する事を言うのじゃ。

じゃが、悪神がどこから精一杯攻めて来ようと、神の国には悪神の哲学では思いもよらぬ仕掛けがしてあるゆえ、心配いらぬw(にやり

いよいよその時が来たら、神がまことの神力を出して天地をゆさぶる。

悪神が「降参じゃ」と申すまで、トコトンまでギユウギユウと締めつけて、

「未来永劫、末代まで蛇姫・・・じゃなかった、神さまの言う事を聞きますから、どうか許してください!!!」

と言って泣いて詫びて改心するまで、ゆさぶり続けてやるのよw(フッフ

それゆえ、神の国、神の臣民は案ずるでない。心を大きく持って御用をするのじゃ。

どこにいようと、御用をしている臣民はみな助けてやろう。

だが、わらわの気まぐれで日本の国が滅びようとも、みな許して
くれる。

なぜなら・・・そうよ、わらわが美しいから！！！！！！！

(口語訳はボア・ハンコック様でした)

予言その5

5・一連の騒動は「この世始まって二度とない苦勞」。

『上つ巻 第01帖』

二二は晴れたり、日本晴れ。神の国のまことの神の力をあらはず代となれる、

仏もキリストも何も彼もはつきり助けて七六かしい御苦勞のない代が来るからみたまを不断に磨いて一筋の誠を通して呉れよ。

いま一苦勞あるが、この苦勞は身魂をみがいて居らぬと越せぬ、この世初まって二度とない苦勞である。

このむすびは神の力でないと何も出来ん、人間の算盤では弾けんことぞ、日本はお土があかる、外国はお土がさかる。

都の大洗濯、鄙の大洗濯、人のお洗濯。

今度は何うもこらへて呉れというところまで、後へひかぬから、その積りでかかつて来い、

神の国の神の力を、はつきりと見せてやる時が来た。

嬉しくて苦しむ者と、苦しくて喜ぶ者と出て来る、は神の国、神の力でないと何んにも成就せん、

人の力で何が出来たか、みな神がさしてゐるのぞ、いつでも神かかれる様に、綺麗に洗濯して置いて呉れよ。

戦は今年中と言つゝあるが、そんなちよこい戦ではない、

世界中の洗濯ざから、いらぬものが無くなるまでは、終らぬ道理が分らぬか。

臣民同士のいくさでない、カミと神、アカとあか、ヒトと人、ニクと肉、タマと魂のいくさぞ。

己の心を見よ、戦が済んでいないである、それで戦が済むと思つてゐるとは、あきれたものぞ、

早く掃除せぬと間に合わん、何より掃除が第一。

さびしさは人のみかは、神は幾万倍ぞ、さびしさ越へて時を待つ。
加実が世界の王になる、てんし様が神と分らん臣民ばかり、口と心
と行と、三つ揃うたまことを命みことといふぞ。

神の臣民みな命みことになる身魂、掃除身魂結構。

<http://13.proroktok2.com/space-age/sunmoon/123|01|up/up|01|001.htm>

< >

富士は晴れたり、日本晴れなのですよ

神の国のまことの神の力をあらわす時代になりましたのです。

仏教徒もキリスト教徒もみんなちゃんと助けて、ややこしい御苦勞
のない時代が来るのです。

だから絶えず身魂を磨いて、一本の誠を通してほしいのです。 には
ーっ ^ ^

これからまだ一苦勞ありますですが、この苦勞は身魂がみがけてい
ないと越えられないのです。

この世界が初まってから、二度とないご苦勞なのですよ。 みい

この締めくくりは、神の力でないと何もできないのです。 人間のそ
ろばんでは弾けませんのです。

日本はお土が上がります。 外国はお土が下がります。

都会の大洗濯 田舎の大洗濯 人のお洗濯なのですよ

今度は「もう勘弁してください、限界です」というところまで、後
へ引けないのですから、そのつもりでかかって来ててくださいなので
す。 にはーっ ^ ^

神の国の神の力を、はつきりと見せてあげる時が来たのです。

嬉しいはずなのに苦しむ者と、嬉しいはずなのに喜んでいられる者
とが出てきます。

日本は神の国なので、神の力でないと何にも成就しませんのです。

みいー

人間の力だけで何ができたと言うのですか？みいんな神がさせているのですよ。

いつでも神がかかれる様に、身魂を綺麗にお洗濯しておいてほしいのですよ。にぱーっ ^ ^

戦争・・・第二次大戦のことですね、は、今年中に終わると言っているようですが、まだまだ、そんなちよっこい戦いではないのですよ。みい・・・

世界中の洗濯なのですから、世界中のいらないものが全部なくなってしまうまでは、終わらないのです。

この道理が分からないのですか？

臣民同士の戦争ではないのです。紙と神、垢と鬨伽、匪徒と人、憎と肉、弾と魂との戦いなのです。

自分の心をよく見てみてくださいです、戦争が済んでいないのです。

そんなので戦いが済むと思っっているとは、あきれたものなのですよ。

早く掃除をしないと、間に合わなくなってしまう。何より掃除が第一なのです。

さびしいのは人間だけではないのです。神はその何万倍もさびしいのです。

でも神は、そのさびしさをじっと耐えて、時が来るのを待っていますのですよ。

神が、世界の王様になるのです。なのにてんし様が神だということが分からない臣民ばかりなのです。

言葉と心と行い、この3つがちゃんと揃った「まこと」の「みたま」のことを、「みこと」と言うのです。

神の臣民はみんな、その「みこと」になる身魂なのです。みい

上手に身魂のお掃除ができた人から、なでなでしてあげますですよ。

にぱーっ ^ ^

警告はした・・・。

勘違いしないでほしいのは、あなたが嫌いだからこういふ事を言ってる訳じゃないってこと。

死んでも良い人に、危険を教える必要はないのだし。

本当はこれを伝えるつもりはなかった。

でも、死という月を映す水面を掻き消すために、小石を投じてみたくなったの。

何も変わらないかもしれないけど。

私は生きたい。大好きな友人に囲まれて、楽しく日々を過ごしたい。それだけなの。

それ以上は何も望んでいないの・・・死にたくない。

(口語訳は古手梨花ちゃまでした)

予言その5（後書き）

【補整】

紙：紙幣〓金。また新聞〓マスコミ。

闕伽：神仏に供える水〓垢を洗い流す水？

匪徒：暴徒。強盗。テロリスト。殺戮者。

憎：憎しみ。

弾：銃の弾。武器。兵器。

予言その6

6. どうもこの時期になると、人類が二極化するらしい。

四つん這いになって獣のように這いまわる人と、空を飛ぶような人とはつきり分かれる。

『下つ巻 第23帖』

世が引繰り返って元の神世に返るといふことは、神々様には分つて居れど、

世界とどこどこにその事知らし告げる神柱あるなれど、最後のことは 九この神でないと分らんぞ。

この方は天地をキレイに掃除して天の大神様にお目につけねば済まぬ御役であるから、

神の国の臣民は神の申す様にして、天地を掃除して てんし様に奉らならん御役ぞ。

江戸に神早う祀りて呉れよ、仕組通りにさすのであるから、臣民我を去りて呉れよ。

この方祀るのは天あめのひつくの家ぞ、祀りて秋立ちたら、神いよいよ烈しく、

臣民こひひの性来こひひによって、臣民の中に神と獣とハッキリ区別せねばならんことになりて来たぞ、神急けるぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|02|under/under|02|065.htm>

< >

世界がひっくり返り、元の神話の時代に戻るということを、神々はみな分かっているわ。

いま世界のあちこちで、そのことを人間に知らせようとしている神もいるの。

でも最終的なことは、この神でないと分からないわ。

この神の役目は、地球を全部キレイに掃除して、宇宙の大神に見せること。

神の国の臣民の役目は、神の言うとおりに地球を掃除して、てんしに差し出すこと。

早く江戸に神を祀って。神の計画の通りにするの。だから、臣民はエゴを捨て去って。

この神を祀るのは、天の日月の家。祀って秋が立つたら、神はいよいよ激しくなるわ。

臣民はそれぞれの性来によって、神か獣かにハッキリ区別しないといけなくなってきたの。

神は急いでいるわ。

肉・・・嫌いだもの。

(口語訳は綾波レイさんでした)

『下つ巻 第25帖』

今度の戦で何もかも埒ついてしまふ様に思ってるが、それが大きな取違ひぞ、

なかなかそんなチヨロツコイことではないぞ、今度の戦で埒つく位なら、臣民でも致すぞ。

今に戦も出来ない、動くことも引くことも、進むことも何うすることも出来ないことになりて、

臣民は神がこの世にないものといふ様になるぞ、それからが、いよいよ正念場ぞ、

まことの神の民と獣とをハッキリするのはそれからぞ。

戦出来る間はまだ神の申すときかんとぞ、戦出来ぬ様になりて、始めて分かるのぞ、

神の申すこと、ちつとも違はんぞ、間違ひのことなら、こんなにくどりは申さんぞ。

神は気もない時から知らしてあるから、いつ岩戸が開けるかと云ふことも、

この神示ふでよく読めば分かる様にしてあるのぞ、改心が第一ぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|02|under/under|02|067.htm>

< >

第二次大戦で、世界の建て直しは終わったように思ってるなんて、あんなバカあ!?

事態はそんなチヨロイ話じゃないのよ!

あの程度の戦争で世界の建て直しが済むぐらいなら、人間にだってできるわよ!

今に戦争もできなくなるのよ!動くのも引くのも、進むことも何もできなくなるんだから!

みんな嘆き悲しんで、「この世に神はいないんだ」って言うようになるのよ!

でもそこからが、いよいよ正念場なの!

真の神の民と、獣とをハツキリ分けるのはそれからよ!

戦争ができるうちは、まだ神の言うことを聞かないだろうけど、そのうち戦争もできないようになってから、始めて分かってくるんだから!

神の言うことに間違いはないのよ!間違ってることなら、こんなにしつこく言わないわ!

神は事態の予兆もない時からこうして教えてあげてるのよ!

いつ岩戸が開けるのかも、この神示をよく読めば分かるようにして

あるの！
でも、まずは改心が第一よ！

ゲ！出た！耽美男！

（口語訳は惣流・アスカ・ラングレーさんでした）

『富士の巻 第19帖』

神世のひみつと知らしてあるが、いよいよとなりたら地震かみなりばかりでないぞ、

臣民アフィンとして、これは何とした事ぞと、口あいたまま何うすることも出来んことになるのぞ、

四ツン這ひになりて着る物もなく、獣となりて、這ひ廻る人と、空飛ぶやうな人と、二つにハッキリ分かりて来るぞ、

獣は獣の性来いよいよ出すのぞ、

火と水の災難が何んなに恐ろしいか、今度は大なり小なり知らさならんことになりたぞ。

一時は天も地も一つにまぜまぜにするのざから、人一人も生きては居れんのざぞ、

それが済んでから、身魂みがけた臣民ばかり、神が拾ひ上げてみろく彌勒の世の臣民とするのぞ、

どこへ逃げても逃げ所ないと申してあるがな、高い所から水流れるやうに時に従ひて居れよ、

いざといふときには神が知らして一時は天界へ釣り上げる臣民もあるのぞぞ。

人間の戦や獣の喧嘩位では何も出来んぞ、くどう気付けておくぞ、何よりも改心が第一ぞ。

http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/12303_huji/fuji0

< >

大衆というものは、いつの時代も、理解出来ないものを、異端とみなして迫害するものだ^ ^

神の世界が来るまでの秘密だと言ってあるけど、いよいよその時が迫れば、リリン達に襲いかかる災害は、地震やカミナリだけじゃない。

リリン達は茫然として、これはどういう事なのかと、ぽかんと口を開いたまま、どうすることもできなくなるんだよ。

そして四つん這いになって、服も着ずに獣になって、這い廻るリリンと、空を飛ぶようなリリンと、二種類のリリンにハッキリと分かれてくる。

獣は獣の本性を、いよいよ隠せなくなるのさ・・・。

火と水の災害がどんなに恐ろしいものか、今度は大なり小なり教えておかなければいけないことになった。

一時は天も地も一つにかき混ぜられる。だから、リリンは一人も生きてはいられなくなるんだ！

それが済んでから、身魂がみがけているリリンだけを神が拾い上げて、「みろく」の世界の住民にするのさ。

どこへ逃げても逃げ場所なんか無いって、言っただろう？

水が高所から流れ落ちるように、素直に共時性に従ってほしい。

いざという時には、神が使いを送り、一時的に天界へ釣り上げるリリンもいる。

リリンの戦争や、獣の喧嘩ぐらいでは何もできやしない。

しつこく言っておくけど、何よりも、改心が第一だよ。

なんにせよ帰る国、ホームがあるという事実は、幸せに繋がる。よいことだよ^ ^

(口語訳は渚カヲルさんでした)

予言その7

7.そして世界中が九分九里までダメになったとき、残る一里のしくみが働いて

世界がグレンとひっくり返り、ミロクの世が到来する。

『下つ巻 第09帖』

今度の戦は、との大戦ぞ。

神様にも分らん仕組が世の元の神がなされてゐるのだから、下の神様にも分らんぞ。

何が何だか誰も分らんやうになりて、どちらも丸潰れと云ふ所になりた折、大神のみことによりて

この方らが神徳出して、九分九厘という所で、神の力が何んなにえらいものかと云ふこと知らして、

悪のかみも改心せなならんやうに仕組みてあるから、神の国は神の力で世界の親国になるのぞ。

、ととは心の中に「、」があるか「、」がないかの違いであるぞ。

この方は三四五の神とも現われるぞ。

江戸の御社は誰でも気楽に来て拝める様にして置いて呉れよ、

この方の神示書く役員、神示うつす役員、神示説いてきかす役員要るぞ、

役員は人の後について便所を掃除するだけの心掛ないとつとまらんぞ、役員づらしたら直ぐ替身魂使ふぞ。

http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|02|under/under|02|051.htm

< >
キラ・・・

今度の戦いは、ととの大戦ですわ。

他の神様にはお分かりにならない仕組みを、世界の元の神がなさつていらつしやるのです。

ですから、下の方の神々などには、到底、お分かりにならないことなのですわ。

何が何だか、どなたもお分かりにならないようになって、どちらも丸潰れという所になった、

いよいよその時に、大神の命令によって、この方たちが神徳をお出しになるのですわ。

九分九厘のギリギリとなった所で、神の力がどんなに強いものであるかということを知らしめるのですわ。

それから、悪の神も改心しなくてはならないように、ちゃんと仕組んでありますのよ。

こうして神の国は、神の力で、世界の親国となるのですわ。

、ととは、心の中に「、」があるか、「、」がないかの違いです。

この方は、「みよいづ」の神としてもお出ましくださる方ですので、どうかそのように・・・

江戸の御社は、どなたでもお気軽に来て、参拝できるようにしておいてくださいな。

この方の神示を書く役員と、神示を写す役員と、神示を説いて聞かせる役員が要りますわ。

でも役員の方は、人の後についてお手洗いをお掃除するくらいの、謙虚さが無いといけませんわねえ。

自分は役員だと言って威張りはじめたら、すぐに役員を降ろしますわよ。替わりに使える身魂は、いくらでも居ますもの^ ^

、だけでも、 だけでもダメなのです。だから・・・
何と戦わねばならないのか。世界の建て替えとは、難しいですわね
え・・・

(口語訳はラクス・クラインさんでした)

『下つ巻 第21帖』

、ばかりでもならぬ、 ばかりでもならぬ。 、がまことの神の
元の国の姿ぞ。

元の神の国の臣民は、 でありたが、 が神国に残り が外国で栄
へて、どちらも片輪となったのぞ。

、もかたわ もかたわ、 と と合はせて まことの ^{かみ}、の世に
致すぞ。

今の戦は、 と との戦ぞ、 神の最後の仕組と申すのは に、 入れる
ことぞ。

も五ぞ、 も五ぞ、 どちらも、 このままでは立ちて行かんのぞ。

一厘の仕組とは に神の国の、 を入れることぞ、 よく心にたたみて
おいて呉れよ。

神は十柱五十九柱のからだ待ちてゐるぞ。 五十と九柱のミタマの神
々様お待ちかねであるから、 早うまゐりて呉れよ。

今度の御役大層であるが、 末代残る結構な御役であるぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|02|under/under|02|063.htm>

< >

ラクス・・・

、だけでもダメ、 だけでもダメなんだ。 、が本当の、 神の元

の国の姿なんだ。

もともと神の国の臣民は、だっただけ、が神国に残ってが外国で栄えて・・・どちらか片輪になってしまったんだ。

、もかたわ もかたわ・・・だから、と を合わせて、本当の、の世界にしなくちゃいけない。

今の戦いは、と との戦いだ。神の最後の仕組みというのは、に、を入れること。

も半人前、も半人前だ。どちらも、このままでは立ち行かない。

繰り返すけど、一厘の仕組みというのは、に神の国の、を入れることなんだ。このことはよく心にたたんでおいて。

神は十柱五十九柱の、身魂がみかけた人間の身体を待っている。

五十と九柱の神々がお待ちかねだから、早く行ってあげてほしい。

今度のお役目は大変だけど、末代まで栄誉が残る、すごいお役目なんだよ。

僕達は何と戦わなきゃならないのか、少し解った気がする・・・

(口語訳はキラ・ヤマトさんでした)

『下つ巻 第20帖』

上、中、下の三段に身魂をより分けてあるから、神の世となりたら何事もきちりきちりと面白い様に出来て行くぞ。

神の世とは神の心のままの世ぞ、今でも臣民 神ごころになりたら、何でも思ふ通りになるぞ。臣民 近愆ちかよなから、心曇りてゐるから分らんぞ。

今度の戦は神力と学力のとどめの戦ぞ。

神力が九分九厘まで負けた様になったときに、まことの神力出して、ぐれんと引繰り返して、

神の世にして、日本のてんし様が世界まるめてしろしめす世と致して、天地神々様にお目にかけるぞ。

てんし様の光が世界の隅々まで行きわたる仕組が三四五みよいつの仕組ぞ、岩戸開きぞ。

いくら学力強いと申しても百日の雨降らすこと出来まいがな。

百日雨降ると何んなことになるか、臣民には分るまい、百日と申しても、神から云へば瞬きの間ぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123|02|under/under|02|062.htm>

< >

ギナ・・・

神の世界になつたら、身魂はそれぞれ上・中・下の三段により分けられるゆえ、何事もきちりきちりと、面白いようにできて行くようになるぞ。

神の世界とは、神の心のままの世界だ。

ちなみに今からでも、臣民が神の心になつたら、何でも思う通りになるはずだぞ。それなのに臣民は近欲で、心が曇っているから分からないのだ。

今度の戦いは、神力と学力との、とどめの戦いだ。

神力が九分九厘まで負けたようになった時に、真の神力を出して、グレンと引つ繰り返す。

そうして神の世界にして、日本のてんしが世界をまとめて統べる世界とし、天地の神々にお目にかけるのだ。

てんしの光が、世界の隅々まで行きわたる仕組みが「みよいつ」の仕組みだ。岩戸開きだ。

いくら学力が強いと威張っている者でも、百日間も雨を降らすことはできぬであろうが。

百日間も雨が降ったらどんなことになるか、臣民には想像もつかないだろう。

百日と言っても、神から見れば瞬きのように一瞬のできごとだぞ。

予はロンド・ミナ・サハク。『天空の宣言』に従い、汝らを守ろう

(口語訳はロンド・ミナ・サハク様でした)

『富士の巻 第07帖』

悪の世であるから、悪の臣民 世に出てござるぞ、善の世にグレンと引繰り返ると申すのは善の臣民の世になることぞ。

今は悪が栄えてゐるのざが、この世では人間の世界が一番おくれであるのざぞ、草木はそれぞれに神のみことのまにまになってゐるぞ。一本の大根でも一粒の米でも何でも貴くなったであるが、一筋の糸でも光出て来たであるがな、

臣民が本当のつとめしたなら、どんなに尊いか、今の臣民には見当とれまいがな、

神が御礼申すほどに尊い仕事出来る身魂ぞ、

殊に神の国の臣民みな、まことの光あらはしたなら、天地が輝いて悪の身魂は目あいて居れんことになるぞ。

結構な血筋に生まれてゐながら、今の姿は何事ぞ、神はいつまでも待てんから、いつ気の毒出来るか知れんぞ。

戦恐れてゐるが臣民の戦位、何が恐いのぞ、それより己の心に巣くうてる悪のみたまが恐いぞ。

< >

シュウト・・・

今は悪の世界ですから、悪の臣民が世にはばかっているのです。善の世界にグレンと引つ繰り返るといことは、善の臣民の世界になるといことです。

今の世界は全体的に悪が栄えています、中でも人間の世界が一番立ち遅れています。

草や木でさえ、それぞれに、神の命じられたままになっているといふのに。

ほら、こう言うお話をすると、一本のお大根でも、一粒のお米でも、何でも貴く感じられるようになったでしょう。^ ^

糸も植物からできていますから、そうしたら一本の糸でも、光って見えるでしょう。^ ^

植物でさえこうなのですから、臣民が本来の力を発揮しておつとめをしたものなら、

どんなに尊いことが、今の臣民には見当もつかないことでしょうね。

本当は、神がお礼を言うほどに、尊い仕事ができる身魂なのですよ。

ことに神の国の臣民が、みんな本来の光を現したのなら、天地までもが輝いて、悪の身魂は目を開いていられないことになるのです。

そのような特権的な血筋に生まれていながら、今の姿は一体、何事ですか！

神はいつまでも待てません。そういう方は、いつお気の毒なことになるか、分かりませんよ？

戦いを恐れているようですが、臣民の戦いぐらい、何が恐いと言っているのですか？

そんなことよりも、己の心に巣くっている、悪の身魂の方がよっぽど恐ろしいのですよ。

よしなに^ ^

(口語訳はリリジマ ナ・ミヤ・ド・ラクロア姫でした)

予言その8

8・諸外国よりも一足先に立ち直っていた日本によって、世界はひとつにまとめられる。

世界をひとつにまとめて統治する一人の王があらわれる。
人に神がかかってさまざまな手柄を立てさせる。

『上つ巻 第28帖』

世界中まるめて神の一つの詞(王)で治めるのぞ。

それが神のやり方ぞ、百姓は百姓、鍛冶は鍛冶と、今度はとことに定まるのぞ、

身魂の因縁によりて今度はハッキリと定まって動かん神の世とするのぞ、

茄子の種には瓜はならんぞ、茄子の蔓に瓜をならすのは悪の仕組、今の世はみなそれでないか。

これで世が治まったら神はこの世に無いものぞ。神とアクとの力競べぞ。

今度はアクの王も神の力には何うしてもかなはんと心から申す所まで、

とことんまで行くのざから、アクも改心すれば助けて、よき方に廻してやるぞ。

神の国を千切りにして膾ナマスにするアクの仕組は分りて居る、

アクの神も元の神の仕組を九分九厘までは知ってるて、天地ひっくり返る大戦となるのぞ。

残る一厘は誰も知らぬ所に仕かけてあるが、この仕組、心で取りて呉れよ、神も大切だが、この世では臣民も大切ぞ。

臣民この世の神ぞ、と言ふて鼻高になると、ポキン折れるぞ。

<http://13.pro.tok2.com/ space ->

< >
見えるわ・・・

テラを一つにまとめ、神の一つの王で治めるのです。
それが神のやり方なの。

今度は、農民になるべき者は農民に、職人になるべき者は職人と、
永久に定まります。

身魂の縁によつてハッキリと定め、それ以外では変わらない、神の
世界とするのです。

茄子の種に瓜はならないはずでしょう？茄子のツルに瓜をならすの
は悪の仕組みよ。でも今の世界は、みんなそれではありませんか。
そんなことでテラが治まったら、神がこの世界にいないのと一緒に
す。

これは、神と悪との力くらべなの。
今度は、悪の王が「神の力にはどうしても敵わない」と、心から言
うまで、とことんまで行くのです。

悪も改心さえすれば、助けて、良い方に回してさしあげますわ。
神の国を千切りにしてナマスにする、悪の仕組みのことは分かっ
ています。

悪の神も、元の神の仕組みを九分九厘までは知っていて、天地がひ
っくり返る大戦となるのです。

でも残る一厘は、誰も知らない所に仕掛けてあります。
この仕組みの秘密は、はやく身魂をみがいて、みがけた心で受け取
れるようになってください。

神も大切ですが、この世では臣民も大切なのです。

臣民が、「自分たちこそ、テラの神だ」と言つて、鼻高になつてい
ると、お鼻がポキンと折れてしましますわよ。

ブルー、テラへ行ってきましたよ・・・

(口語訳はフィシス様でした)

『富士の巻 第12帖』

御土は神の肉体ぞ。臣民の肉体もお土から出来てゐるのぞ、この事
分りたら、お土の尊いことよく分るであろがな。

これからいよいよ厳しくなるぞ、よく世の中の動き見れば分るであ
ろが、汚れた臣民あがれぬ神の国に上がってゐるではないか。

いよいよとなりたら神が臣民にうつりて手柄さすなれど、今では軽
石のような臣民ばかりで神かかれんぞ。

早う神の申すこと、よくきいて生れ赤子の心になりて神の入れもの
になりて呉れよ。

一人改心すれば千人助かるのぞ、今度は千人力与えるぞ、何もかも
悪の仕組は分りているぞ、いくらでも攻めて来てござれ、

神には世の本からの神の仕組してあるぞ、学や知恵でまだ神にかな
ふと思ふてか、神にはかなはんぞ。

[http://13.pro.tok2.com/space-
age/sunmoon/12303huji/fuji0
3092.htm](http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/12303huji/fuji03092.htm)

< >

お土は神の肉体です。臣民の肉体もお土から出来ているのですよ。
この事が分かつたら、お土が尊いのだということが、よくお分かり
になるでしょう？

これからは、いよいよ厳しくなるのです。よく世の中の動き見てい
れば分かりますよ。

汚れた臣民が、上がれないはずの神の国のお土に、上がっているで

はありませんか。

いよいよその時がきたら、神が臣民にうつって手柄を立てさせますが、今はまだ軽石のような臣民ばかりで、ちっとも神がかれませんが早く神の言うことをよく聞いて、生れたばかりの赤子のような心になって、神の入れものになってください。

一人改心すれば、千人が助かります。今度は千人力を与えます。悪の仕組みは何もかも分かっています。いくらでも攻めて来ればいい。

神には、テラ創世の時から仕掛けてある、秘密の仕組みがあるんです。学や知恵などで、まだ神に敵うと思っているのですか？神には敵いませんよ。

キース、そのテラの王というのはひょっとして・・・いえ、何でもありません・・・

(口語訳はジヨナ・マツカさんでした)

『天つ巻 第16帖』

今度の戦済みたら てんし様が世界中知ろしめして、外国には王はなくなるのざぞ。

一旦戦おさまりても、あとのゴタゴタなかなか静まらんぞ、神の臣民ふんどし締めて神の申すことよく腹に入れて置いて呉れよ、ゴタゴタ起りたとき、何うしたらよいかと云ふことも、この神示ふでよく読んで置けば分るやうにしてあるのざぞ。

神は天からと宙からと地からと力合ちからはして、神の臣民に手柄立てさす様にしてあるのざぞが、

今では手柄立てさす、神の御用に使ふ臣民いちみん一分もないのざぞ。

神の国が勝つばかりではないのざぞ、世界中の人も草木動物も助けてみな喜ぶやうにせならんざから、臣民では見当取れん永遠とことはにつづく神世に致すのざから、素直に神の申すこときくが一等ざぞ。

人間の知恵でやれるなら、やって見よれ、あちらへ外れ、こちらへ外れて、ぬらりくらりと鰻つかみぞ、思ふやうにはなるまいがな、神の国が本の国ざから、神の国からあらためるのざから、一番つらいことになるのざぞ、

覚悟はよいか、腹さへ切れぬ様なフナフナ腰で大番頭とは何と云ふことぞ、てんし様は申すもかしこし、人民さま、犬猫にも済むまいぞ。

人の力ばかりで戦してゐるのでないこと位 分って居らうがな、目に見せてあらうがな、これでも分らんか。

<http://13.prok2.com/space-age/sunmoon/123|04|top/top|04|123.htm>

< >

? なんだ化け物。

ごたごた言っている暇があったら、発言の前と後ろに『サー』を付ける。

そして私にコーヒーを淹れてくるがいい。 マ「さーいえっさ

ー

今度の戦いが済んだら、てんしがテラを統治し、外国には王はいなくなるのだ。

一旦、戦争は収まっても、あとのゴタゴタはなかなか静まらんぞ。

神の臣民は気を引き締め、神の言うことをよく腹に入れておくように。

ゴタゴタが起ったときに、どうしたら良いのかということも、この

神示をよく読んでいけば、分かるようにしてある。

神は天・宙・地の力を合わせて、神の臣民に手柄を立てさせようとしているのだが、

今のところ、手柄を立てさせ、神の御用に使える臣民は、一分もない。

神の国が勝つばかりではないのだ。世界中の人も、草も、動物も、みんな助けて喜ぶようにしてやらねばならない。

臣民では見当もつかない、永遠につづく神の時代にするのだから、素直に神の言うことを聞くのが一番だぞ。

人間の知恵だけでやれるものなら、やってみせるがいい。

あちらへ外れ、こちらへ外れて、ぬらりくらりと鰻つかみだ。思うようにはなるまい。

神の国が本の国だから、神の国から改める。だから、神の国が一番つらいことになるのだぞ……

覚悟は良いか。腹さえ切れないようなへっぴり腰でリーダーづらだとは、何と言うことだ……

そんなでは、てんしはもちろん、人間にも、犬猫にさえ申しわけないぞ。

人間の力ばかりで戦っているわけではないことぐらい、もう分かっているだろう。その目に見せたはずだ。それでも分らないのか？

テラの未来、か……

(口語訳はキース・アニアンさんでした)

予言その9

9・建て治った世界はすばらしいものになっている。

・日も月も海も山も野も光り輝いて水晶の様になる。天も地も人も草も、みな光り輝く。

・石や草も喋ったり歌ったりするようになる。土から上がったものが光って来る。

・暑さ寒さが和らぎ、気候も非常に快適になって暮らしやすくなる。

・人民は死のない「てんし様」になる（不老不死になる？）（半霊半物質になる？）

・肉体のまま神界とこの世を行ったり来たりできるようになる。

・また多少未来のことは予知できるようになるなど、超常の力を持つようになる。

・金はいらなくなる。衣類、食べ物、家倉もすべて様変わりする。

・悪はどこにも隠れられなくなる。

・神をたたえる声が天地に満ち満ちて、嬉し嬉しの世となる。

『下つ巻 第32帖』

この道ひろめて金儲けしようとする臣民沢山に出て来るから、役員気つけて呉れよ、役員の中にも出て来るぞ、

金は要らぬのぞぞ、金かねいるのは今しばらくぞ、

生命は国にささげても金は自分のものと頑張ってる臣民、気の毒出来るぞ、

何もかも天地へ引き上げぞと知らしてあること近づいて来たぞ、金かたきの世来たぞ。

http://13.pro.tok2.com/ space -
age/sunmoon/123|02|under/under
|02|074.htm

< >

この道を利用して、お金儲けをしようとする臣民がたくさん出てくるわ。

役員は気を付けてください。役員の中にもそういう人が出てきます。

お金はいらなくなるんです。お金がいるのは今しばらくです。

命は国に捧げても、お金は自分の物だと我を張っている臣民は、気の毒なことになるわ・・・

何もかも一旦、天と地へ返すのだと教えてあったことが、近づいて来たの。お金がかたきになる時代が来たんです。

神さま、風の神さま、どうかみんなを守って・・・！

(口語訳はナウシカさんでした)

『下つ巻 第35帖』

何もかも持ちつ持たれつであるぞ、臣民喜べば神も喜ぶぞ、

金^{きん}では世は治まらんと申してあるのに、まだ金^{きん}追^おつてゐる見^み苦^くしい臣民ばかり、金は世をつぶす本ぞ、

臣民、世界の草木まで喜ぶやり方は、の光のやり方ぞ。

臣民の生命も長^{なが}うなるぞ、てんし様は生き通^{とお}しになるぞ、御^お玉^{たま}体のままに神界に入^いられ、またこの世に出^いられる様になるぞ、

死^しのないてんし様になるのぞ、それには今のやうな臣民のやり方ではならんぞ、

今のやり方ではてんし様に罪ばかりお着せしてゐるのざから、この

位 不忠なことないぞ、

それでもてんし様はおゆるしになり、位までつけて下さるのぞ、このことよく改心して、一時も早く忠義の臣民となりて呉れよ。

<http://13.pro.tok2.com/space-age/sunmoon/123/02/under/under02/077.htm>

< >

何もかも、持ちつ持たれつだ。臣民が喜べば、神も喜ぶぞ。

金では世界は治まらぬと申しているのに、まだ金を追っている見苦しい臣民ばかりだな。金は世界を潰すもとだぞ。

臣民や、世界中の草や木まで喜ぶやり方は、の光のやり方だ。

臣民の生命も長くなるぞ。「てんし様」は生き通しになるのだ。生きた体のままに神界に入り、またこの世に戻るようになるのだ。

死のない「てんし様」になるのだ。それには、今のような臣民のやり方ではまかりならぬ。

今のやり方では、てんしに罪ばかり着せているのだから、これほど不忠義なことはないぞ。

それでも、てんしはそれをゆるし、位までつけてくれると言つのだ。

このことをよく改心して、一時も早く、忠義の臣民となってくれ。

間違えるな、私は相談しているのではない。

(口語訳はクシヤナ殿下でした)

『下つ巻 第36帖』

神をそちのけにしたら、何も出来上がらんやうになりたぞ。

国盗りに来てグレンと引繰り返りて居らうがな、それでも気づかん

か。

一にも神、二にも神、三にも神ぞ、一にも天詞様、二にも天詞様、三にも天詞様ぞ。

この道つらいやうなねど貫きて呉れよ、だんだんとよくなりて、こんな結構なお道かと申すやうにしてあるのざから、

何もかもお国に献げて自分の仕事を五倍も十倍も精出して呉れよ。戦位 何でもなく終るぞ。

今のやり方ではとことんに落ちて仕まうぞ、神くどう気つけて置くぞ。

国々の神さま、臣民さま改心第一ぞ。

```
http://13.protok2.com/space-  
age/sunmoon/123|02|under/under  
|02|078.htm
```

< >

神をそつちのけにしては、何もでき上がらないようだったのだよ。

国を盗りに来た者達によって、グレンと引っくり返っているだろう。それでも気が付かないのかね？

一にも神、二にも神、三にも神だ。一にもてんし様、二にもてんし様、三にもてんし様なのだよ。

この道はつらいようだが、辛抱してつらぬいてくれたまえ。

だんだんと良くなり、「こんな素晴らしいお道だったのですか」と言うようにしてある。

何もかもお国に献げ、自分の仕事に五倍も十倍も精を出してくれたまえ。

戦争ぐらい、何でもなく終わる。

今のやり方のままでは、とことんまで落ちてしまつ。神はくどくどと言っておじつ。

国々の神さまも、臣民さまも、まずは改心が第一なのだよ。

思い出したまえ。その身魂を働かせる方法を。約束さえ果たせば君も楽になれる。

(口語訳はロムスカ・パロ・ウル・ラピユタさんでした)

『下つ巻 第37帖』

世が変わりたら天地光り人も光り草も光り、石も物ごころに歌ふぞ、雨もほしい時に降り、風もほしい時に吹くと雨の神、風の神 申して居られるぞ。

今の世では雨風を臣民がワヤにしているぞ、降っても降れず、吹いても吹かん様になりてゐるのが分らんか。盲つんぼの世の中ぞ。

神のゐる場所塞いで居りて お蔭ないと不足申すが、分らんと申しても余りであるぞ。

神ばかりでもならず、臣民ばかりではなおならず、臣民は神の入れものと申してあるが、

あめのひつくの民と申すのは、世界治めるみたまの入れものことぞ、民草とは一人をまもる入れものぞ、

ひつくの臣民は神がとことん試しに試すのだから、可哀そうなれど我慢して呉れよ、

その代り御用つとめて呉れたら、末代名を残して、神からお礼申すぞ。

何事も神は帳面につけとめてゐるのだから間違ひないぞ、この世ばかりでないぞ、生れ代り死に代り鍛へてゐるので、

ひつくの臣民 落ちぶれてゐると申してあるがな、
今に上、下になるぞ、逆立ちがおん返りて、元のよき楽の姿になるのが近づいたぞ、

逆立ち苦しかるがな、改心した者から楽にしてやるぞ、御用に使ふぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space>

< >

世界が変わったら、天地が光り、人も光り、草も光り、石も物ごころに歌うようになるのよ。

雨もほしい時に降り、風もほしい時に吹くって、雨の神、風の神は仰ってるわ。

今の世界では、臣民が雨風をダメにしているのよ。降っても降られず、吹いても吹けないようになってるのが、分らないの？

まったく、めくら、つんぼの世の中なんだから！！

神のいる場所をふさいでおいて、ご利益がないと言っているけど、分らないからと言っても、あんまりだわ！！

神だけでもだめ、臣民だけではなおのことだめ。臣民は神の入れものだと言ってるでしょ。

天の日月の民というのは、世界を治める「みたま」の入れ物のことよ。民草というのは、一人を守る入れ物のこと。

今回、日月の臣民には、神が試練を与えて、トコトン試しに試すわ。可哀想だけど我慢してちょうだい。

その代わりしっかりとお役目を務めてくれたら、末代まで名を残して神からお礼を言うわよ。

神は何ごとも、ちゃあんと帳面につけてるんだから、間違いなんてないの。

この世の話ばかりじゃないのよ。生まれ変わったり、死に変わったりに鍛えているの。

日月の臣民は落ちぶれてしまっているんだって、言ってるでしょう。

今に上が下になるわよ。

逆立ちだったのが起き上がって、元の良い、楽な姿になる時が近づいたわ。

逆立ちも苦しいでしょう？改心したら楽にしてあげるわよ。お役目に使うわ。

ここではお花畑ストのお国より、人生がもうちょっと複雑なの。

(口語訳はマダム・ジーナさんでした)

『天つ巻 第20帖』

神の世と申すのは、今の臣民の思ふてあるやうな世ではないぞ、金^{きん}は要らぬのぞぞ、

お土からあがりたものが光りて来るのぞぞ、衣類たべ物、家倉まで変るのぞぞ。

草木も喜ぶ政治と申してあらうがな、誰でもそれぞれに先の分る様になるのぞ。

お日様もお月様も海も山も野も光り輝いて水晶の様になるのぞ。

悪はどこにもかくれること出来ん様になるのぞ、ばくち、しょうぎは無く致すぞ。

雨も要るだけ降らしてやるぞ、風もよきやうに吹かしてやるぞ、

神をたたえる声が天地にみちみちて うれしうれしの世となるのぞぞ。

<http://13.pro.tok2.com/space.age/sunmoon/123|04|top/top|04|127.htm>

< >

神の世界と言つのはね、今の臣民が思っているよつな世界じゃないんだよ！金はいらないのさ！

お土から上がったものが光って来るんだよ！着物、食べ物、家屋もぜ〜んぶ変るのさ！

草木も喜ぶ政治だと言つてあるだろうが？え？

それに誰でも多少、それぞれの未来が予知できる様になるしねえ！
お日様もお月様も、海も山も野も光り輝いて、水晶の様になるんだ
よ！

悪はどこにも隠れることができなくなる！博打や将棋みたいなもん
も無くす！

雨もいるだけ降らしてやるし、風も良いように吹かしてやるんだよ
！

神をたたえる声が天地に満ち満ちて、嬉し嬉しの世界になるのさ！

四の五の言つと、子豚にしちまうよ！

(口語訳は湯婆婆さんでした)

『天つ巻 第27帖』

石物いふ時来るぞ、草物いふ時来るぞ。

北おがめよ、北光るぞ、北よくなるぞ、夕方よくなるぞ、

暑さ寒さ、やはらかくなるぞ、五六七の世みろくとなるぞ。

慌てずに急いで呉れよ。

神々様うぶすなみなうぶすなの産土様 総活動でござるぞ、神々様まつりて呉れよ、
人々様まつりて呉れよ、御礼申して呉れよ。

http://13.prok.tok2.com/space-
age/sunmoon/123|04|top/top|04|
134.htm

< >

石が喋る時がきます。草が話す時がきます。

北を拝みなさい。北が光ります。北が良くなりますよ。夕方がよくなる
ります。

暑さ寒さは、柔らかくなります。「ミロク」の世界となるのです。慌てずに、急ぎなさい。

神々や、みなさんの産土神たちが、みんな活動しています。

神々をまつってください。人々もまつってください。そうして、お礼を言ってください。

あなたは神からの3度の問いかけに、すべて正しく答えられるかしら？

(口語訳はグランマンマーレさんでした)

予言その9（後書き）

口語訳は以上でございます！全部読んでくださった方は、お疲れさまでしたorz

とりあえず1巻〜4巻中のそれっぽい文章を引用しました（朝倉涼子とボア・ハンコックのところだけ、それぞれ12巻と7巻。）

それと、口語訳にお好きなキャラクターがいた方は、お願いだから殺さないください（アイタツアイタツ

いやーただ単に面白くしようと思ったただけなんですけど、キャラ崩壊もいいとこでしたわ^ ^;

普通にやった方が良かったかな？^ ^;でもずーっと同じ調子だと飽きると思つてサ。

口語訳だけにしようかとも思つたんですが「やっぱり本文がないとつまんなあ〜い」と思つたので、どちらも掲載（てへ

日月の特徴でもある、ズバズバとした、せき立てられるような、厳しい口調が

や　　っ　　ぱ　　り　　心　　地　　い　　い　　！　　！

なんか自分と喋つてるみたいなんですよ、私の場合w

ちなみに私は、岡本天明にかかつて実際に日月神示を降ろした神（国之常立神との中継役）は、

女じゃないかと思つてます。神に性別があるのかどうか知りませんが、なんか女っぽいなど。

そういえばこんな逸話が・・・最初に麻賀多神社で岡本天明に自動書記が起こったあと、天明が社務所で休んでいると、籠を背負った農家風の老婆があらわれたんだそうです。その老婆と親しくなった天明は、近くにあった彼女の裕福そうな家に招かれ、戦時中であつたにもかかわらず、たらふく御馳走になります。

その2年後に、今度は天明が麻賀多神社の近くに住むことになるのですが、まずその老婆に挨拶に行こうと思って訪ねてみると、家があつたはずのところは何もない。いくら探しても老婆の家は見つからず、近所の人に聞いても分からなかつたそうです。

この不思議な老婆が、中継役の神さんだったとしたら、やっぱり日月神示を実際に降ろしたのは、女性的な神さんかもしれませんなあ。

それはそうとこの中継神さん、どうも人間がお好きではないようですwwwwすげーツンデレwww人間なんてどうでもいいと思ってるのが、文面からひしひしと伝わって来るような^ ^ ;
本当はやりたくなかつたけど国之常立神に頼まれてしびしび引き受けたって感じがしますw

それでは続きいってみよー^ ^ (まだ続くんかい!) (ビシィッ

ところで、なんでこんな予言が的中すると思っわけ？

『ところで、なんでこんな予言が的中すると思っわけ？』

その理由は、ズバリ先日 of 政権交代でございます！

私は以前から日月神示の教えは好きでしたけど、「外国からの軍事攻撃」による日本滅亡予言だけは信じていなかったんです。

だって地下資源もない日本にそんなに諸外国が攻め入ってくる理由がありませんもの。

日本に油田か金脈でも見つかり、且つ外交に失敗でもすれば話は別ですが、それも現政権のうちでは考えられない・・・

とか思ってたら、ナント政権が変わってしまった！！！

しかも民主党orz

なんか今回はノリで投票した人が多かったようですが、これ冗談じゃなくヤバイですよ！

マジな話、民主党は超ド級の売国政党なんですよ！

「そりゃ悪いところもあるだろうけど、きつと良いところもあるはずです（キラキラ）」

とかいう「願望」による応酬にはもう飽き飽きです。

そういう方は、悪いですけど日本人に有益かつ実現可能な民主党の政策を、一つでも挙げてみてください。

さらに参議院も民主党に牛耳られていますので、今までは民主党が推進しつつも

自民党がかかるうじて止めていたトンデモ売国法案（後述）が、ポン

ポン成立してしまう恐れがあるんです。

恐れというか、もうこれから確実にそうになると断言できますけど。

「民主党がダメだったら、また変えれば良いじゃん？」と思ったそのあなた！

衆院議席の「過半数」が、民主党員になったことはご存知ですよ？

これはつまり「内閣不信任決議」が事実上不可能になったということです！

分かってない方が多いようですが、これ、ほぼ独裁の状態ですよ？
??

マジで鳩山政権（小沢の傀儡政権）が4年も続いてしまう可能性があります。
あります。

そして4年後はやっぱり、かの2012年なんです！！！！

ではここで、マスコミが報じない民主党のトンデモ売国法案の一部をお目にかきましょう。

- ・日本の国家主権を海外に移譲する（。 。 ）ハア？
- ・外国人参政権
- ・人権擁護法案
- ・北朝鮮人権法案（北朝鮮人を無条件で受け入れる。もちろん生活保護もバツチリ）
- ・移民1000万人計画
- ・沖縄ビジョン（沖縄に外国人を3000万人入れ、日本から切り離す）
- ・自衛隊の解体&軍備縮小、さらに在日米軍も大幅削減（。 。 ）

ハア？

ソース：民主党公式HP 注目

まるで侵略してくださいと言わんばかりの、へっばこ法案ばかりです。

残念ながら、これらの法案は今後、確実に成立すると思われるので、お覚悟を^ ^

自衛隊を解体したあげく在日米軍も追い出すなんて、狂気の沙汰ですことよ？まずはアメリカ様がカンカンに怒ることでしょう。

日本は丸裸になり、どこから軍事攻撃を受けてもおかしくない状況になります。

あまり知られてはいませんが、日本を植民地にしたがっている国は存在します。特定アジアですけど。

さらに難民も出稼ぎもスパイも関係なく、無作為に外国人を入国させ、

そのうえ参政権まで与えてやると言うので、内側からの工作活動も容易になります。

日本は今後、外は丸裸、内は骨抜きという、絶体絶命の窮地に、必ず追い込まれることと思います。

ちなみに日月の中にはこんな予言もあります。

「戦争もできないようになって始めて、この神示の意味が分かる」

「今に戦争もできなくなり、動くことも引くことも、進むことも何もできなくなる」

戦争もできなくなってフルボッコニカ？T T

・・・やはり上記のような法案の成立が、「日本滅亡予言」的中へのフラグであるように思われますorz

また冒頭にも書きましたが、日月には

「世の建て替えが近くなると、いい加減な宗教家やチャネラーやウヨウヨ出てきて、人々を惑わす」

という予言もあります。

私がおカルト鳩山夫妻を警戒しているのは、この予言のためでもあります。

以下は本当に余談です。

日月には「日本に最初に侵攻してくるのはロシア」とあります。

分かっていることなら、今のうちから警戒していなければなりません！

だがちょっと待ってほしい。ここで日月が降ろされた時節の話。

日月神示が降ろされたのは第二次大戦中です。当時のロシアはソ連でした。

つまり日月神示の言う「ロシア」とは現在のロシアではなく、ソ連のことである可能性があると思います。

ソ連の残党が作った国がありますよね。

そう！北朝鮮です！

「北からくるぞ」「北に気をつける」

今の段階では、北朝鮮が日本に攻め入ることなど、ほぼ不可能でしょう。

しかし民主党の政策である、北朝鮮人権法案、外国人参政権、自衛隊の解体、

これらの下積み期間を経てからなら・・・十分可能。

最初に日本を攻撃してくるのはロシアではなく、北朝鮮かもしれませんわね・・・。

(これはあくまでも、私個人の勝手な推論ですので ^ ^ ;

悪には悪の！！お役目がある！！

『悪には悪の！！お役目がある！！』

ここで重要なことは、じゃあその「三千世界の洗濯」とやらを終わらせるには

その「民主党」「やら」「ロシアの悪神」とやらを、又つ殺せばおこなのかというところ、

どうも、コトそんな単純なお話でもないようでございます。

「悪には悪のお役目があるぞ」

はーまた分けのわからんことを言いだしたぞ？このツンデレ神さんは。

なんでも、世界を建て替えるにはどうしても悪の存在が必要で、

わざわざ悪のお役とやらを引き受けている人がいるんだそうです。

善を知るためには、悪を知らなければならぬってことも知られませんな。

ということとはつまり、悪のお役は根っからの悪人というわけではなく、本当はいいやつだけど

そいうお役目が必要だから、わざと憎まれ役を買って買っているだけとも考えられます。

ちなみに過去にどんな悪事を働いたやつでも、その時までには身魂みがきさえ済んでいけば、みんな助けてやるんだそうです。

また、根っからの悪人もなるべく改心させて助けてやる。

それも暴力や軍事力ではなく、「抱き参らせて（はあと）」改心させ

て助けてやろうという、なんとも慈悲深くいご計画だそうですね。

なんだ、こいつ、案外いいやつじゃないか。デレたぞ、デレたw

だからさ、民主党が日本をグレンとひっくり返して

日本にトドメを刺したとしても、それは「お役目」なんじゃないか
と思いますのよ。

なので、もうあんまり売国政治家どもに腹を立てるのはやめようか
と思います。

言っとくけど腹を立てるのをやめるだけです。

批判はこれからも続けますので、あしからず^ ^ (誰に

「神との対話」によると、「自分が楽しいこと＝正しい」「自分が
不快なこと＝間違っている」なので、

腹を立てながら批判してるならダメだろうけど、楽しくて批判して
るなら別にいいんじゃない？あとは内容に筋が通ってれば。

お花畑ストはみんな「批判するのはやめましょう」(キラキラ)すべ
てはありのままが良いのです(キラキラ)「

とか言ってるけどさ、ねえよ^ ^

なんでもかんでも肯定してればそれで進化できるぐらいなら、神
さんが宇宙に「二極化」を作った意味がない。

「二極化」については『善悪の概念』で後述するので、良かったら
読んでってください。

ちなみに日月の方にも

「その時がきたら(身魂がみがけている者は)善も悪もみんな助け
てやるが、今は悪と戦っていてくれ」

みたいなことが書いてあるので、やっぱり悪意に対する抵抗は必要かと。

しかし誰が善のお役目で、誰が悪のお役目であるのか、今のところはまださっぱり分かりません。

私がこうして独断と偏見で日月の解説ページを作っていることだつて、ひょっとしたら悪のお役目かもしれないぜ？（ふひひひw

で、ぶっちゃんけ生き残るにはどうしたらいいん???

『で、ぶっちゃんけ生き残るにはどうしたらいいん???'』

「身魂みがき」

この一言に尽きます。

だ、だって本当にそうとしか書いてないんだもん！

神さんが助けられるのは身魂のみがけた、幼子のようにピュア（キラキラ）な心の人だけとのこと。

ぶっちゃんけ知識人よりも、ちょっとおバカな方が助かりやすいようなことが書いてありますよ。

身魂が磨けたピュア（キラキラ）な心の方は、どこで何をしています、

貧乏でもひ弱でも情報弱者でも、絶対に助けてくれるそうです！！

＼（*、、）ノヤッター

反対にそれ以外の人、身魂が磨けていない人は、いくら金を貯めても、

物資を買い溜めしても、どこまで逃げても無駄だそうです。死にな

さい^ ^（朝倉涼子調で

では身魂をみがくためには、具体的にどのような暮らしをすれば良いのでしょうか？

ような・・・ハッ(。°。°。)

—
¥ —
| (B) — プルーン
—
/ . . . / ¥
—
> . . . < 思い出したニダ!
() / ¥
—
()

宮沢賢治の「雨ニモマケズ」だ！

雨にも負けず 風にも負けず

雪にも夏の暑さにも負けぬ 丈夫な体を持ち

欲はなく 決して怒らず いつも静かに笑っている

一日に玄米四合と味噌と少しの野菜を食べ

あらゆる事を 自分を勘定に入れずに

よく見聞きし分かり そして忘れず

野原の松の林の陰の小さな萱ぶきの小屋にいて

東に病気の子供あれば 行って看病してやり

西に疲れた母あれば 行ってその稲の束を負い

南に死にそうな人あれば 行って怖がらなくてもいいと言い

北に喧嘩や訴訟があれば つまらないからやめると言い

日照りのときは涙を流し 寒さの夏はオロオロ歩き

みんなにデクノボーと呼ばれ 褒められもせず 苦にもされず
そういう者に 私はなりたい

これこれ ^ ^ 小学生のころに暗記させられたっけねえ。

これ日月の生き方とまったく一緒だと思っただけですけど、どうよ？

宮沢賢治がインディゴのパイオニアだって話、あながち嘘じゃない
かもねえ。

それに「雨ニモマケズ」なら、日本人はみんな知ってるやん！

「質素で謙虚で阿保で幼心で肉は食わない暮らし」とか言うより、

「雨ニモマケズみたいな暮らし」って言えば一発で伝わるやん！

すっげー俺天才！！俺スゴス！！俺キモス！！（ボカッバキツグシ
ヤッ

で、でもさ、これってちょっと前までの日本人の暮らしそのままじ
やね？

「まごころ」「思いやり」「謙虚さ」「お陰様」「嬉し嬉し」・・・
世界中の聖者が

30年も瞑想してやっと得られる知恵を、日本人は最初っから持っ
ていたのですぞ？

ちよっと前までの日本

[http://www.nicovideo.jp/watch/
nm5530504](http://www.nicovideo.jp/watch/nm5530504)

最近の日本

<http://www.nicovideo.jp/watch/>

/ — |
 . . . — —
 — ¥三 / — —
 — (/ / — —) どじつと . . .
 / / / / /

ほんと謎だよ。

ちなみに日月によると

「生き残る者も一度は死ぬ。死んでからまた生き返る」

「一時は天も地も一緒くたにかき混ぜるから、誰も生きてはいられなくなる。」

それが済んでから、身魂がみかけた臣民ばかりを神が生き返らせる。」

らしいので、みんな一度は絶対に死ぬらしいなんてことは内緒ニダ。

で、ぶつちやけ生き残るにはどうしたらいいん???(後書き)

p.s.

すみません、こっちに半霊半物質の体になるって、はつきりと書いてありました^ ^ ;

『五葉の巻 第15帖』

今に大きい呼吸も出来んことになるお知らせであろうが、その時来たぞ、

岩戸がひらけると言ふことは

【半分のところは天界となることぢや、天界の半分は地となることぢや】、

今の肉体、今の想念、今の宗教、今の科学のままでは岩戸はひらけんぞ、

今の肉体のままでは、人民生きては行けんぞ、

一度は仮死の状態にして魂も肉体も、半分のところは入れかえて、

ミロクの世の人民としてよみがへらす仕組、心得なされよ、

神様でさへ、この事判らん御方あるぞ、大地も転位、天も転位するぞ。

『五葉の巻 第16帖』

マコトでもって洗濯すれば霊化される、

半霊半物質の世界に移行するのであるから、半霊半物の肉体とならねばならん、

今のやり方ではどうにもならなくなるぞ、

今の世は灰にするより他に方法のない所が沢山あるぞ、

灰になる肉体であつてはならん、原爆も水爆もビクともしない肉體となれるのであるぞ、

今の物質でつくった何物にも影響されない新しき生命が生れつつあ

るので。

岩戸ひらきとはこのことであるぞ、
少し位は人民つらいであろうなれど勇んでやりて下されよ、大弥栄
の仕組。

一回殺すか仮死状態にしたあと、
身魂のみがけた人だけを半霊半物質の肉体にしてよみがえらせるよ
うです。

善悪の概念（前書き）

ここからは、ずっと関連情報や雑談です。

善悪の概念

『善悪の概念』

これは日月だけではなく、「シルバーバーチ」や「神との対話」にも書かれていることですが

ある事象に対する「悪い」とか「間違っている」とか「劣っている」とかいう「否定」の概念は、

本来の神さん（これは真正正銘の宇宙を作った神）にはないということですよ。

なぜなら宇宙の全てが神さんの分身であり、神さん自身なので、自分で自分を否定するようなことは、できないとのこと。

しかし私たちから見れば、明らかに「悪いこと」や「醜いもの」、「不快な奴」や「極悪人」だっていますよ。これはどういうこと？？？

実は「善悪」や「明暗」に代表される、二極化や相対性というのは、もともとは存在しなかったのだけど、

みんなが楽しめるようにと思って、わざわざ神さんが作ってくれたものなんだそうです。

二極化ができる前の宇宙は、旧劇場版エヴァンゲリオンのラストのように、

みんなが一緒くたのドロドロで区別がなく、個性も進化も無い不毛な世界で、非常につまらなかったそうです。

そこで私たちの魂の祖先が「こんなのつまんなーい！」と神さんに抗

議したところ、

「よしよし」と言って作ってくれたのが、今日の二極化の世界であるということですよ。

二極化を作ったことで、はじめて「個」や「美」や「感動」が生まれたんですねえ。

しかし世界を二極化させたことで、あるルールが生まれました。ものごとを相対的でしか把握できなくなるというものです。

上を知るためには下を知る必要がある。右を知るためには左を知る必要がある。

暑さを知るためには寒さを知る必要がある。美しさを知るためには醜さを知る必要がある。

喜びを知るためには悲しみを知る必要がある。善を知るためには悪を知る必要がある。

こんなぐあいに。

こうして「否定」が生まれたわけです。

つまり「否定」は我々が経験して楽しんで、進化していくための不可抗力のようなものです。

そんなわけで本来、我々はこの二極化の世界を大いに楽しむべきなんです。

どうも近ごろのお花畑ストどもは、嫌に「光」や「洗練」や「肯定」や「完全」など、「+」にばかり固執しているように思います。

本来なら「闇」や「複雑」や「否定」や「あいまい」など、「-」も一緒に楽しむべきなんですよ。

お化け屋敷やジェットコースター怖いけどおもしろいでしょ？私？

無理ですがなにか。

最近では、

- ・二極化を楽しめる人＝アセンション可
- ・二極化に文句ばかり言う、もしくは片方ばかりに固執する人＝アセンション不可

ではないかとさえ思っています。

「神との対話」の方には

『最大の悪は、この世に悪など存在しないと決め付けることだ』とはつきり書いてあります。

だから「すべては神さまの愛（キラキラ）」とか「悪なんて本当は存在しない（キラキラ）」とか言うって

何でもかんでも肯定的に捉えるのは危険なんですよ。もっかいドロドロの世界に戻すよ？

確かに日月も「神との対話」も、『悪を憎むことは間違っている』とは言ってますが、

『悪を認識することは間違っている』とは言っていない。『悪を善だと思い込め』だなんて一つも言っていない。

悪は悪と認識した上で、「ゆるす」もしくは「抱き参らせる」「ことが大事だと言ってるんです。

そうじゃなきゃ修行にならないので、生まれてきた意味がないですよ（・・・）

ちなみに「抱き参らせる」ってのは「否定すべきもの」に働きかけて性質を変えさせ

「肯定すべきもの」にシフトチェンジさせるってことじゃないかな

？

「否定すべきもの」を「否定すべきもの」のまま「肯定」すると、
血の雨が降るよ？

「否定すべきもの」を「肯定」したかったら、

「否定すべきもの」に自分から死ぬ気で働きかけて

「肯定すべきもの」にシフトチェンジさせるしかないだろうが常考。

あとこれは自論なんですけど、神さんの唯一の欠点を挙げるとしたら、
それは「否定」ができないことです。

だったら神さんにできない「否定」を代わりにやるのが、我々の仕事
でもあるんじゃないでしょうか？

我々の仕事は「否定すべきもの」を発見して「肯定すべきもの」に
シフトチェンジさせること。

そして「否定の存在」を「肯定」すること。

以上、自論失礼しました。

びっくり箱って？

『びっくり箱って？』

ところで、日本に天変地異が起こって外国から軍事攻撃されるつち
ゆうのは

まあ分かるとして、その後の世界中がパーになるほどの大惨事って
どんなもんじゃいな？

「泥の海」、「火の雨」、「火と水」。水のように流れる火の泥・
・？

ただの核攻撃や、地震や、火山の噴火ではないような気がするお・
・（　・　・　・　）

さて。

『天つ巻 第十四帖』

海一つ越えて寒い国に、まことの宝 隠してあるのぞぞぞ、

これからいよいよとなりたら、神が許してまことの臣民に手柄い
たさずぞ、

外国人がいくら逆立ちしても、神が隠してあるのざから手は着け
られんぞ、

世の元からのことであれど、いよいよが近くなりたら、この方
の力を出して見せるぞ、

びっくり箱が開けて来るぞ。

どうやら神さんは、海一つ越えて寒い国に、「びっくり箱」を隠し
ているそうです。

海一つ越えて寒い国、というロシアなイメージですが、一説によると「南極ではないか??」とも言われております。

南極の氷の下で凍結されていた超古代兵器が復活する・・・!なんて言ってる人も^ ^ ;

そ、そういえばロンギヌスの槍も南極に運ばれ(黙れ

でも私は今のところ、「びっくり箱」とは古代兵器プルトンや、UFOなどではなく

自然災害のことなんじゃないかと思ってます。神さんが起こすんだし。

んで偶然知ったんですけど、ひよっとしてスーパーブルームによる大量絶滅のことか???)?と思いました。

スーパーブルーム

http://www.youtube.com/watch?v=80OiRViYEtI∓feature=player_embedded

2億5千万年前、ペルム期の大量絶滅などを引き起こした原因であると言われております。

大量絶滅

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E9%87%8F%E7%B5%B6%E6%BB%85>

の情報によりますと、地球の誕生以降、種の大量絶滅は6回起こっており、今現在、7回目の大量絶滅が進行しているそうです。おや?

みなさん、冒頭の『主な内容』の項を覚えてらっしゃいますか？[^]

>ちなみに今までも世の建て替えは6回あったそうで、今回は7回目でこれで最後。

>トドメの一発で、一番すごいことになるんだそうです。

うーん、かんばしい匂いがしますなあw

それで思い出したんですけど、現在、南極の氷が溶けているわけですが、どうも氷の表面が溶けているのではなく、

地表に接している部分が溶けているそうです。熱くなっているのは大気ではなく、地面の方だと・・・

そんなわけで、いま南極には氷の下に巨大な湖ができてしまっているそうですが、

・・・南極でスーパーブルームが起こるのかもしれないなあ（あくまで推測よ。推測。

また、この「びっくり箱」を開くお役目は、竜宮の乙姫＝玉依姫だとのこと。

この「びっくり箱」が開くと、もう、なんだか、もの凄いことになって、みんな口をポカンと開いたまま何もできなくなるんだそうです[^] [^] ;

ボカロが歌う、かんたん祝詞

『ボカロが歌う、かんたん祝詞』

日月神示に出てくる祝詞集。覚えとくといいかもね。

ルカ姉の『ひふみ神言』 『天地の数歌』 『アオウエイ祝詞』 『ひふみ祝詞』。

<http://www.nicovideo.jp/watch/sm7318116>

みつくみくの『天津祝詞』。

<http://www.nicovideo.jp/watch/sm1924498>

中でもひふみ祝詞は最重要の祝詞であると言われており、短いのでぜひ覚えておくことをおすすめします。つてか歌って覚えちゃえ

ひふみ よいむなや こともちろらね
しきる ゆゑつわぬ そをたはくめか
うおえ にさりへて のますあせゑほ れけ

ゑは「うい」、「ゑは「うえ」と発音します。

この祝詞も不思議な曰くのあるもので、熊本県の幣立神宮というお宮には、

古代日本人が漢字の伝来より以前に使っていた、「神代文字」という文字で、このひふみ祝詞が刻まれた石板があるそうです。

<http://heitate.blog37.fc2.com/>

blog-entry-324.html

つまり、縄文時代から存在する祝詞なんですよ!!
おやおや?

みなさん、冒頭の『日月神示の宗教観』の項を覚えてらっしゃいますか? ^ ^

> 日月は宗教のあり方を、縄文時代の神籬ひまろぎのような形態に戻すと言ってます。

うーん、かんばしすぎますなあwww

あと個人的にお勧めなのが「かなながらたまちはえませ」っていう祝詞。

意味は「神の御心のままに、すべてが良くありますように」みたいな。南無阿弥陀仏みたいな感じで手軽に使えて、超便利です

【その他オヌメ外部サイト】

『心&身魂のアセンション』

<http://ascension.mikossi.com/>

アセンション系の情報が総括されているサイトです。

だいたい話を流し読みするならココ! 多少ネタも含まれているようですがw

『心&身魂のアセンションブログ』

<http://ascensionnote.blog.shin>

obi.jp/Entry/50/

の管理人がやってるブログです。

『リサ・ランドールの五次元宇宙論』

part1: <http://www.youtube.com/watch?v=Kx7uSgtibQw&feature=related>

related

part2: <http://www.youtube.com/watch?v=XC182bkNqv4&feature=related>

related

part3: <http://www.youtube.com/watch?v=WJt6ypD92N4&feature=related>

related

part4: <http://www.youtube.com/watch?v=hFZvyXAlcB0&feature=related>

related

part5: <http://www.youtube.com/watch?v=qubVbbjA5mD8&feature=related>

related

ボカロが歌う、かんたん祝詞（後書き）

以上を持ちまして、セオメの独断と偏見による「日月神示」解説を終了させていただきます。

ここまで根気強く読んでくださった方は、まことにお疲れ様でございます
いますたorz

そして、セオメのページに遊びに来てくださって、ほんとーにありがとうございます
がとつございました^ ^

ではまたの機会にお会いしましょう^ ^

お相手はセオメ＝マーヤでした！！ バイバイ ノシ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9876h/>

ゆとりでも分かる日月神示

2010年10月12日13時44分発行